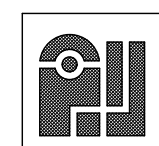


栄町第二庁舎機械設備改修工事設計図



株式会社 創ライフ研究室


図 面 リ ス ト

図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
M - 0 1	建築関係工事特記仕様書	NO SCALE	M - 1 6	現況 換気設備 1 階平面図	1 : 1 5 0
M - 0 2	機械設備工事特記仕様書 (1)	NO SCALE	M - 1 7	現況 換気設備 2 階平面図	1 : 1 5 0
M - 0 3	機械設備工事特記仕様書 (2)	NO SCALE	M - 1 8	現況・改修 衛生機器表	NO SCALE
M - 0 4	機械設備工事試験内容一覧表	NO SCALE	M - 1 9	改修 衛生設備 1 階平面図	1 : 1 5 0
M - 0 5	凡例表、標準施工要領図	NO SCALE	M - 2 0	改修 衛生設備 2 階平面図	1 : 1 5 0
M - 0 6	配置図・案内図	1 : 2 5 0	M - 2 1	改修 1、2 階トイレ平面詳細図	1 : 5 0
M - 0 7	現況・改修 冷暖房設備機器表	NO SCALE	M - 2 2	現況 衛生設備 1 階 平面図	1 : 1 5 0
M - 0 8	改修 冷暖房設備 1 階平面図	1 : 1 5 0	M - 2 3	現況 衛生設備 2 階 平面図	1 : 1 5 0
M - 0 9	改修 冷暖房設備 2 階平面図	1 : 1 5 0	M - 2 4	現況 1、2 階トイレ平面詳細図	1 : 5 0
M - 1 0	改修 冷暖房設備制御配線 1・2 階平面図	1 : 2 0 0	M - 2 5	改修 消火 1 階平面図	1 : 1 5 0
M - 1 1	現況 冷暖房設備 1 階平面図	1 : 1 5 0	M - 2 6	改修 消火 2 階平面図	1 : 1 5 0
M - 1 2	現況 冷暖房設備 2 階平面図	1 : 1 5 0			
M - 1 3	現況・改修 換気設備機器表	NO SCALE			
M - 1 4	改修 換気設備 1 階平面図	1 : 1 5 0			
M - 1 5	改修 換気設備 2 階平面図	1 : 1 5 0			

[illegible]

特記事項	A2：100%		
	A3：71%		

工事名称	栄町第二庁舎機械設備改修工事				
図面名称	建築関係工事特記仕様書		承認	設計	担当
縮 尺	NO SCALE	製作年月日	令和7年2月		



Solife
Architect
Office

株式会社 創ライフ研究室

■ 本 社：金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室：喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530
1級建築士事務所登録 第15(205)0291号
管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号

図面番号

M-O 1

章	項 目	特 記 事 項	1	17 インサート	床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。	5	1 中央監視制御	・有（ ・ 本工事 ・ 別途 電気設備工事 ） ・ 無																														
機械設備共通事項	1 工事項目（機械設備工事）	○印を付したものを		○ 18 コンクリート貫通 ・はつり・穿孔	(1) 貫通、はつり又は穿孔する箇所は、事前に金属探知機による鉄筋・埋設物（電線類・配管類）の調査を行うこと。 (2) 金属探知機による調査で判断できなかった場合は、X線内部探査（撮影）等による調査について監督員と協議すること。 (3) 金属探知機及びX線内部探査（撮影）等による調査が困難な場合は、休日等に関係設備を停止し不測の事態を想定したよでの施工など、対応方法について監督員と協議の上、施設管理者に報告すること。	自動制御設備	2 計装用配線	屋外・屋内露出の電線は、図面に特記が無ければ金属管配線とする。 天井内隠蔽の配線は、図面に特記が無ければケーブル配線とする。 ・銅板（厚1.6mm以上） ・ステンレス鋼板（厚1.2mm以上）																														
	工事項目	建物種別及び屋外	1 事務所・集会所	2	3	4																																
	○ 1	空気調和設備																																				
	○ 2	換気設備	○																																			
	・ 3	排煙設備																																				
	・ 4	自動制御設備																																				
	○ 5	衛生器具設備	○																																			
	○ 6	給水設備	○																																			
	○ 7	排水設備	○																																			
	○ 8	給湯設備	○																																			
	○ 9	消火設備	○																																			
	・ 10	ガス設備																																				
	・ 11	厨房機器設備																																				
	・ 12	雨水利用設備																																				
	・ 13	浄化槽設備																																				
	・ 14	昇降機設備																																				
	○ 15	搬送工事	○																																			
	・ 16																																					
	工事項目の分類は、公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）（平成30年版）を標準とする。																																					
項 目	特 記 事 項		2	○ 1 設計温度	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">外気条件</th><th colspan="4">室 内（調 整 目 標 値）</th></tr><tr><th>温度（DB）</th><th>湿度（RH）</th><th>温度（DB）</th><th>湿度（RH）</th><th>温度（DB）</th><th>湿度（RH）</th></tr><tr><td>夏 季</td><td>35.9℃</td><td>49.0%</td><td>－℃</td><td>－%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬 季</td><td>-2.6℃</td><td>52.1%</td><td>－℃</td><td>－%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table>		外気条件		室 内（調 整 目 標 値）				温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	夏 季	35.9℃	49.0%	－℃	－%	℃	%	冬 季	-2.6℃	52.1%	－℃	－%	℃	%	○ 2 冷暖房の能力	空気熱源ヒートポンプユニット及びパッケージ型空気調和機の温度湿度条件はJIS条件による				
	外気条件		室 内（調 整 目 標 値）																																			
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）																																
夏 季	35.9℃	49.0%	－℃	－%	℃	%																																
冬 季	-2.6℃	52.1%	－℃	－%	℃	%																																
○ 1 機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする		3	ばい煙濃度計	・ 設ける（電源は、付属制御盤の2次側より取り出すものとし、配管配線とも本工事に含む） ・ 設けない																																	
○ 2 機 材	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は同等以上のものとする。 ただし、同等以上のものとする場合は、監督員の承認を受ける。		4	煙道	・ 鋼板厚さは煙道幅300φ以下は3.2mm、300φを超えるものは4.5mmとする。 ・ 図示による																																	
○ 3 機材、施工の試験	共通仕様書の各項の試験によるほか、「機械設備工事試験内容一覧表」による。		5	ダクト工法	低圧ダクトとする。（高圧1及び高圧2の部位は図示による。）																																	
○ 4 設置施工	(1) 設置施工は、「福島県建築設備設置・対津波計画設計（福島県土木部制定）」、及び、「建築設備設置設計・施工指針（一財）日本建築センター）」による。 (2) 本工事施設の耐震安全性の分類は下記による。 ○ 特定の施設（ ・ 甲類1 ・ 乙類1 ○ 乙類2 ） ・ 一般の施設（ ・ その他 ） (3) 設備機器の設計用標準水平震度（Ks）は、下表による。		6	長方形ダクト工法	・ アングルフランジ工法 ・ コーナポルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）																																	
	<table><tr><th rowspan="3">設 置 場 所</th><th colspan="4">耐 震 安 全 性 の 分 類</th></tr><tr><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>甲類1.2 及び 乙類1.2</th><th>重要機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td>耐震クラス</td><td>耐震クラスS</td><td>耐震クラスA</td><td>耐震クラスB</td><td>耐震クラスC</td></tr><tr><td>上層部、屋上及び塔屋</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>中間層</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td>1階及び地下層</td><td>1. 0 (1. 5)</td><td>0. 6 (1. 0)</td><td>0. 6 (1. 0)</td><td>0. 4 (0. 6)</td></tr></table> 注：（ ）内の値は地層および1階（あるいは地表）に設置する水槽の場合に適用する		設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類				特定の施設		一般の施設		甲類1.2 及び 乙類1.2	重要機器	重要機器	一般機器	耐震クラス	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB	耐震クラスC	上層部、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	中間層	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	1階及び地下層	1. 0 (1. 5)	0. 6 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 4 (0. 6)	7	風量測定口	取付け箇所は図示による。取付け方法は監督員の指示による。
設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類																																					
	特定の施設			一般の施設																																		
	甲類1.2 及び 乙類1.2	重要機器	重要機器	一般機器																																		
耐震クラス	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB	耐震クラスC																																		
上層部、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																		
中間層	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																		
1階及び地下層	1. 0 (1. 5)	0. 6 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 4 (0. 6)																																		
	※ 上層部の定義は次による <table><tr><th>建 物 階 数</th><th>上 層 階</th><th>建 物 階 数</th><th>上 層 階</th></tr><tr><td>2～6階建</td><td>最上階</td><td>10～12階建</td><td>上層3階</td></tr><tr><td>7～9階建</td><td>上層2階</td><td>13階建</td><td>上層4階</td></tr></table> 【重要機器】 ・ 高圧水槽 ・ 受水槽 ・ () ・ () ・ 空気調和機 ・ 厨房機器 ・ () ・ () ・ ボイラー ・ 冷却塔 ・ () ・ ()		建 物 階 数	上 層 階	建 物 階 数	上 層 階	2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階	7～9階建	上層2階	13階建	上層4階	8	チャンパー等	(1) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーには、排水管を設け、最寄りに排水すること (2) シーリングディフューザー形状出口には、下記の接続チャンパーを設けること (a) ネット径がφ200以下のもの 400×400×250H (b) ネット径がφ200を超えるもの 500×500×300H (3) フリースライン形状出口には、下記の接続チャンパーを設けること (a) シングル形 200×（L+100）×300H (b) ダブル形 250×（L+100）×300H																					
建 物 階 数	上 層 階	建 物 階 数	上 層 階																																			
2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階																																			
7～9階建	上層2階	13階建	上層4階																																			
	(4) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする		9	防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	標準仕様書のほか、下記による (1) 復帰方式 送風式（電動式（定格入力はDC24V 0.7A以下）） (2) 復帰動作 順送り																																	
	(5) 軽量機器等の設置施工 上記以外の100kg以下の軽量な機器の取付け、取付けについては、取付地床を入念に施工、確認し、機器メーカーの指定する方法で確実に取付け、取付けを行い落下等に留意すること。		10	弁類	・ JIS又はJIS K ・ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 ・ 合成ゴム製 ・ ステンレス製ベローズ形																																	
	5 建物導入部の変位吸収		11	防振継手	・ 3山樹脂製ベローズ形																																	
	6 建物EXP Jの変位吸収		12	フレキシブルジョイント	・ 合成ゴム製円筒形 ・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製ベローズ形																																	
	7 工事用電力、水、その他		13	伸縮管継手	・ ベローズ形 ・ スリーブ形																																	
	8 埋戻し土		14	温度計	取付けは下記による ・ 熱源機器の冷水水管（送り、送り）及び冷却水管（送り、送り） ・ ボイラーの温水管（送り、送り） ・ 空気調和機の冷水水管（送り、送り）及び三方弁設置後の冷水水管（送り、送り） ・ 熱交換機の温水管（送り、送り） ・ 冷凍ウェッダー（送り、送り）及び冷凍ウェッダーの各送り管 ・ 空気調和機（パッケージ形を含む）のサブライチャンパー、レタダクト、外気取入ダクト及びレタチャンパー																																	
	9 総合調整		15	圧力計	取付けは下記による ・ 熱源機器の冷水水管（送り、送り）及び冷却水管（送り、送り） ・ 空気調和機の冷水水管（送り、送り） ・ 熱交換機の温水管（送り、送り） ・ 冷凍ウェッダー（送り、送り） ・ 冷凍水ヘッダー（送り、送り）																																	
	10 試運転調整		16	瞬間流量計及び測定タッピング（32mmピット管流量計用）	(1) 熱源機器の冷水水管（送り又は送り） ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (2) 熱源機器の冷却水管（送り又は送り） ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (3) ボイラー又は熱交換機の温水管（送り又は送り） ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (4) 空気調和機の冷水水管（送り又は送り） ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (5) 冷凍水ヘッダーの各送り管																																	
	11 自動制御装置、現場盤		17	油断制御装置	制御盤には下記の端子を設けると。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする ・ 給油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ 減油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ 減油警報																																	
	12 運転燃料		18	消音内貼り	(1) 施工する場所は、図示したダクト及びチャンパー類とする (2) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外寸法とする																																	
	13 スリーブ		19	ファンコイルユニット	吹出口 調整弁 ・ ユニバーサル形 ・ 定流量弁 ・																																	
	14 支持金物・固定金具		20	保温	(1) 機器の保温処理 ※ 図示による ・ (2) ダクトの保温処理 ※ 図示による ・																																	
	15 金属管の塗装		21	予備品	・ ファンコイルユニットの付属品 ・ フィルターは各型番台数の1/2以上 ・ 設置台数の100% ・ 自動巻取形エアフィルター用フィルター ・ 各1巻 ・ 設置台数の100% ・ 折込形エアフィルター、プレフィルター（アルミ特付） ・ 各サイズ毎の1/2以上 ・ 設置台数の100%																																	
	16 あと施工アンカー		3	○ 1 ダクト	(1) 低圧ダクト ・ コーナポルト（ ・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ） 工法 ・ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト ・ 塩化ビニル管 ○ グラスウールダクト (2) 高圧ダクト ・																																	
	17 金属管の塗装		2	排気フード	排気フードの補強、支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による ・ ステンレス鋼板（補強材） フード囲いは、上記フードと同材質とすること フードの内周面とのいには、黄銅製コック又はプラグを取り付けること																																	
	18 金属管の塗装		○ 3 ダクトの保温	○ 有（ 保温の種類： ※ 図示による ・ ・ 無	(1) 有（ 保温の種類： ※ 図示による ・ ・ 無																																	
	19 金属管の塗装		4	他の設備項目の適用	下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する (1) 風量測定口 (2) チャンパー等 (3) 防煙ダンパー (4) 消音内貼り (5) ダクトの吊り及び支持																																	
	20 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	21 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	22 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	23 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	24 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	25 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	26 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	27 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	28 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	29 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	30 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	31 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	32 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	33 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	34 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	35 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	36 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	37 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	38 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	39 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	40 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	41 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	42 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	43 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	44 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	45 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	46 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	47 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	48 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	49 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	50 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	51 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	52 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	53 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	54 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	55 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	56 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	57 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	58 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	59 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	60 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	61 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	62 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	63 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	64 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	65 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	66 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	67 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	68 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	69 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	70 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	71 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	72 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	73 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	74 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	75 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	76 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	77 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	78 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	79 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	80 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	81 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	82 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	83 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	84 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	85 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	86 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	87 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	
	88 金属管の塗装		4	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）																																	
	89 金属管の塗装		2	排煙口の形式	・ スリット形 ・ バネ形																																	
	90 金属管の塗装		3	排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（ 送風機用機能 ） ・ 要 ・ 不要																																	
	91 金属管の塗装		4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる																																	

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考									
		配 管 途 中	隠 べ い 前	埋 戻 し 前	配 管 終 了 後													
○ 1	給水装置に該当する管	○	○	○	○	水圧試験	1.75MP a 以上	60分	水道事業者の試験圧力の規定がある場合はそれによる。									
・ 2	揚水管等のポンプに直結する配管	○	○	○	○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分										
・ 3	高置水槽以下の配管	○	○	○	○	水圧試験	静水頭に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分										
○ 4	給 湯 管	○	○	○	○	水圧試験	上記1、2、3に準ずる。	60分										
・ 5	さや管ヘッダー配管	○	○		○	水圧試験	<table><tr><td>管 種</td><td>初 圧</td><td>60分後</td></tr><tr><td>架橋ポリエチレン管</td><td>0.75MP a</td><td>0.45MP a 以上</td></tr><tr><td>ポリブテン管</td><td>0.75MP a</td><td>0.55MP a 以上</td></tr></table> 〔注〕継手部分の漏水の有無を目視確認する。	管 種	初 圧	60分後	架橋ポリエチレン管	0.75MP a	0.45MP a 以上	ポリブテン管	0.75MP a	0.55MP a 以上	60分	60分後に規定の圧力以下の場合には再試験を行う。 再試験は、共通仕様書による。
管 種	初 圧	60分後																
架橋ポリエチレン管	0.75MP a	0.45MP a 以上																
ポリブテン管	0.75MP a	0.55MP a 以上																
○ 6	排水管(屋外埋設管以外)		○	○	○	満水試験 煙 試 験	刺激性の濃煙 250Pa	30分 15分										
	排水管(屋外埋設管)			○		満水試験		30分	原則、埋戻し前又は最小限の埋戻しで行う。									
・ 7	排水ポンプ吐出管				○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分										
・ 8	各消火ポンプに連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	当該ポンプの締切圧力の1.5倍	60分										
・ 9	各種送水口に連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	配管の設計送水圧力の1.5倍又は1.75MP aのいずれか大なる圧力 (7と兼用兼用される配管は7又は8のいずれか大なる圧力)	60分	連結送水管送水口等									
・ 10	不活性ガス消火配管		○		○	気密試験 (空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは10.8MP a 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力 (選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力)	10分										
・ 11	粉 末 消 火 配 管				○	気密試験 (空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは2.5MP a 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力 (選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力)	10分										
・ 12	冷温水管、冷却水配管		○		○	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍 (ただし、最小0.75MP a)	30分										
・ 13	蒸気配管、高温水管		○	○	○	水圧試験	最高使用圧力の2.0倍 (ただし、最小0.2MP a)	30分										
・ 14	油 管	○	○	○	○	空気圧試験	最大常用圧力の1.5倍	30分										
○ 15	冷 媒 配 管	○			○	気密試験 (空気又は不燃性ガス)	<table><tr><td>冷媒ガスの種類</td><td>気密試験圧力</td></tr><tr><td>R 2 2</td><td rowspan="4">工事監理指針による</td></tr><tr><td>R 1 3 4 a</td></tr><tr><td>R 4 0 7 C</td></tr><tr><td>R 4 1 0 A</td></tr></table> 〔注〕(1) 試験に使用するガスは、窒素ガス、炭酸ガス又は乾燥空気とする。 (2) 試験終了後、ガスをバージし、真空乾燥を行う。絶対圧力が0.1MP a以下になってからさらに15分以上真空引きし、密閉放置して漏れないことを確かめる。 (3) 配管に冷媒を充填し、運転開始後にガス検知器を使用して配管の接続部を点検し、冷媒の漏洩のないことを確認する。 (4) 屋内機と屋外機の連絡配線は、施工後、絶縁抵抗試験、動作試験を行う。	冷媒ガスの種類	気密試験圧力	R 2 2	工事監理指針による	R 1 3 4 a	R 4 0 7 C	R 4 1 0 A	外部に発泡液を塗布して漏れない事。 その後24時間放置して漏れない事。	周囲温度変化による圧力変化の補正を行う。		
冷媒ガスの種類	気密試験圧力																	
R 2 2	工事監理指針による																	
R 1 3 4 a																		
R 4 0 7 C																		
R 4 1 0 A																		
・ 16	住宅用暖房配管				○	水圧試験	住戸内 0.15MP a (ただし、温水コンセント接続後は0.1MP a) 住戸内以外 静水頭に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	30分										
○ 17	通 水 試 験				○	通水試験	○給水設備～水栓器具等取付後、各々全開又は作動させ、吐出水が清澄となるまで行う。 また、飲料水配管の場合は、末端において、遊離残留塩素濃度が0.2ppm 検出されるまで消毒を行う。 ○排水設備～衛生器具等取付後、行う。 ～空調用ドレン管にも適用する。 ○通水試験後、衛生器具等の水量調整を行う。 ○給湯設備～給水設備に準ずる。											
・ 18	水 質 試 験				○	簡易試験 (9項目)	塩素イオン、有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)、一般細菌並びに大腸菌群、PH値、臭気、味、色度、濁度		福島県給水施設等条例並びに(各)市町村給水施設等条例									
・ 19	ポ ン プ				据 付 完了後	水圧試験	最高吐出圧力(運転範囲における最高全揚程+最高押込み圧力)の1.5倍 (ただし、最小0.4MP a)	3分	給水設備、排水設備、給湯設備、空気調和設備各種ポンプ									
・ 20	塩 素 滅 菌 装 置				据 付 完了後	動作試験	注入及び停止をそれぞれ手動、自動運転で10回以上行い、異常の有無を検査する。											
・ 21	水 槽 類				○	満水試験	満水状態で12時間以上放置し、漏水の有無を検査する。飲料用の場合は、次亜塩素酸ソーダ溶液等により消毒を行う。	12時間										

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
		配 管 途 中	隠 べ い 前	埋 戻 し 前	配 管 終 了 後				
・ 22	鋼 製 ボ イ ラ ー				据 付 完了後	水圧試験	・ 最高使用圧力が0.42MP a以下のものは、最高使用圧力の2倍 (ただし、最小0.2MP a) ・ 最高使用圧力が0.42MP aを超え1.5MP a以下のものは、最高使用圧力の1.3倍に0.3MP aを加えた圧力 ・ 最高使用圧力以上の圧力を受けるおそれのない温水ボイラーは、最高使用圧力に0.1MP aを加えた圧力 (ただし、最小0.2MP a)		
・ 23	鑄鉄製ボイラー				据 付 完了後	水圧試験	・ 蒸気ボイラーは、0.2MP a ・ 温水ボイラーは、最高使用圧力の1.5倍 (ただし、最小0.2MP a) ・ セクションは、最高使用圧力が0.2MP a以下のボイラーは0.4MP a、最高使用圧力が0.2MP aを超えるボイラーは最高使用圧力の2倍		
・ 24	真空式温水発生機				○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec (大気圧換算値) 以下		
・ 25	無圧式温水発生機				○	満水試験		30分	
・ 26	鑄鉄製温水発生機				○	水圧試験	セクションの試験圧は0.6MP a	10分	
・ 27	温水発生機に組込む熱交換器				○	水圧試験	最高使用圧力に0.1MP aを加えた圧力 (ただし、最小0.2MP a)		
・ 28	冷 凍 機				○	水圧試験	設計圧力の1.5倍		冷水及び冷却水水路
・ 29	遠 心 冷 凍 機				○	気密試験	真空95k P aとし、真空降下は12時間に対して1時間当たり50P a以下		運転中の低圧部圧力が大気圧以上となる冷媒を使用するものを除く
・ 30	吸収冷凍機 直置き吸収冷水機 小形直置き吸収冷水機ユニット				○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec (大気圧換算値) 以下		
・ 31	空気調和機の冷水、温水及び蒸気コイル				○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は1.0MP a	10分	
・ 32	ファンコンベクター コンベクター ベースボードヒーター パネルラジエーター				○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は最高使用圧力の1.3倍 (ただし、最小0.5MP a)		
・ 33	貯 湯 タ ン ク 熱 交 換 器 ヘ ッ ダ ー				据 付 完了後	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍に温度補正を行った圧力 $P a = P \times \sigma n / \sigma a$ P a : 補正された試験圧力又は気圧試験圧力 P : 補正前の試験圧力又は気圧試験圧力 σn : 試験時の温度における材料の許容引張応力 σa : 使用温度における材料の許容引張応力		
・ 34	密閉形隔膜式膨張タンク				据 付 完了後	水圧又は気密試験	使用圧力の1.3倍以上		
・ 35	地下オイルタンク				据 付 完了後	水圧試験	70k P a 以上	10分	

2. 浄化槽設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
		配 管 途 中	隠 べ い 前	埋 戻 し 前	配 管 終 了 後				
・ 1	槽 類				工 事 完了後	満水試験	満水状態で24時間以上放置し、漏水の有無を検査する。	24時間	
・ 2	汚水管及び汚泥管	○		○		満水試験		30分	
・ 3	ポ ン プ 吐 出 管			○	○	水圧試験	最小圧力0.75MP a	60分	
・ 4	消 泡 管	○		○	○	通水試験			
・ 5	空 気 管	○	○	○	○	気密試験	最高使用圧力の1.1倍	60分	

3. ガス設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
		配 管 途 中	隠 べ い 前	埋 戻 し 前	工 事 終了後				
○ 1	都 市 ガ ス	○	○	○	○	気密試験 点火試験	最高使用圧力の1.1倍以上 ガスメーター取付後、管内空気を排出して行う。	供給会社 規 程	ガス事業法に定める技術 基準及びガス供給事業者 の供給約款
・ 2	液 化 石 油 ガ ス	○	○	○	○	気密試験	不燃性ガス又は不活性ガスを使用し、 高圧側1.56MPa、低圧側0.4kPa 以上10.0kPa以下 気密試験終了後、管内の空気をガスと入れ替え、 指定の圧力に調整された調整器を取付後に行う。	供給管等の内容積	
						10L以下 5分			
						10L～50L 10分			
						50L超過 24分			
						点火試験			

※水圧・気密・空気圧試験等は、試験中の圧力状態が分かるようにチャート紙に記録することが望ましい。
※本一覧表に記載無き項目は、「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」による。

特記事項	A2 : 100%
	A3 : 71%

工事名称		栄町第二庁舎機械設備改修工事			 Solife Architect Office	株式会社 創ライフ研究室 ■ 本社：金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285 □ 研究室：喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530 1級建築士事務所登録 第15(205)0291号 管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号	図面番号		
図面名称	機械設備工事試験内容一覧表			承認				設計	担当
縮尺	NO SCALE	製作年月日	令和7年2月						

凡 例 表 【 図 示 記 号 】						
配 管 材 料 (●印を適用する)						
項 目	適用	種 別	記 号	仕 様	備 考	
衛 生	給 水	● 給 水 管	屋 内	—— ————	水道用硬質塩化ビニールライニング鋼管 (SGP-VB) JWWA-K-116	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手 (樹脂コーティング)
		○ " "	土 中 埋 設	—— ———— VD	" (SGP-VD) JWWA-K-116	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手 (VD用継手)
		○ " "	屋 内	—— ———— PA	ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PA) JWWA-K-132	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手 (樹脂コーティング)
		○ " "	屋 内	—— ———— PE	架橋ポリエチレン管 JIS-K-6769	サヤ管ヘッター工法 5mm保温付き
		○ " "	屋 外	—— ———— HI	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) JWWA-K-118	HI-TS継手
		○ " "	" "	—— ———— PP	水道用ポリエチレン管 (1種2層管) JIS-K-6762	
		○ " "	" "	—— ———— HPE	水道配水用ポリエチレン管 JWWA-K-114	EF継手 (電気溶着)
	排 水 ・ 通 気	● 排 水 管	屋内土間埋設	—— ———— VP	硬質塩化ビニル管, 一般管 (VP) JIS-K-6741	排水用硬質塩化ビニル管継手
		● " "	屋 内 床 上	—— ———— KP	耐火二層管 (内管 VP)	
		○ " "	" "	—— ———— FP	建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP)	耐火DV継手
		○ " "	" "	—— ————	排水用塩化ビニールライニング鋼管 (D-VA) WSP-042	MD継手
		○ " "	屋 外	—— ———— VP	硬質塩化ビニル管, 一般管 (VP) JIS-K-6741	排水用硬質塩化ビニル管継手
		○ " "	" "	—— ———— VU	硬質塩化ビニル管, 薄肉管 (VU) JIS-K-6741	排水用硬質塩化ビニル管継手
		● 通 気 管	屋内ピット	----- VP	硬質塩化ビニル管, 一般管 (VP) JIS-K-6741	排水用硬質塩化ビニル管継手
生 活	給 湯	● " "	屋 内 床 上	----- KP	耐火二層管 (VP)	
		○ " "	" "	----- FP	建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP)	耐火DV継手
		○ " "	" "	-----	配管用炭素鋼々管, (白) (SGP) JIS-G-3452	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手
	消 火	○ 給 湯 管	I : 送り II : 返り	—— ———— Cu ———— Cu	建築用銅管, (Lタイプ) JIS-H-3300	銅管継手
		○ " "	I : 送り II : 返り	—— ———— I ———— II	耐熱性硬質塩化ビニールライニング鋼管 (SGP-HVA) JWWA-K-141	HTLP用継手
		○ " "	I : 送り II : 返り	—— ———— PE ———— PE	架橋ポリエチレン管 JIS-K-6769	サヤ管ヘッター工法 5mm保温付き
	ガ ス	○ 消 火 管	埋 設 以 外	—— ———— x ————	配管用炭素鋼々管, (白) (SGP) JIS-G-3452	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手
		○ " "	土 中 埋 設	—— ———— x ———— VS	消火用塩化ビレン被覆鋼管 (SGP-VS) WSP-041	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手 (VS用継手)
		○ ガ ス 管	埋 設 以 外	—— ———— G ————	配管用炭素鋼々管, (白) (SGP) JIS-G-3452	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手
		○ " "	土 中 埋 設	—— ———— G ———— PLS	ポリエチレン被覆鋼管 (内面塗装) (PLS・PH1) JIS-G-3469	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手 (PLS用継手)
空 調	給 湯	○ 冷 却 水 管	-C- : 送り -CR- : 返り	—— ———— C ———— CR	水道用硬質塩化ビニールライニング鋼管 (SGP-VA) JWWA-K-116	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手 (樹脂コーティング)
		○ 冷 水 管	-CH- : 送り -CHR- : 返り	—— ———— CH ———— CHR	" " "	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手 (樹脂コーティング)
		○ 温 水 管	-W- : 送り -WR- : 返り	—— ———— W ———— WR	配管用炭素鋼々管, (白) (SGP) JIS-G-3452	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手
	排 水 ・ 通 気	○ 冷 温 水 管	-CW- : 送り -CWR- : 返り	—— ———— CW ———— CWR	" " " "	" "
		○ 膨 張 管		—— ———— E ————	" " " "	" "
		○ 給 油 管	-O- : 送り -OR- : 返り	—— ———— O ———— OR	配管用炭素鋼々管, (黒) " "	原則溶接継手
		● 冷 媒 管		—— ———— R ————	冷媒用被覆鋼管 (断熱厚さ : 液管10mm以上、ガス管20mm以上)	
		● ド レ ン 管		—— ———— D ————	空調ドレン用結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管	ACドレン継手
		○ " "		—— ———— D ————	硬質塩化ビニル管, 一般管 (VP) JIS-K-6741	TS, VD継手
		○ " "	屋 外 露 出	—— ———— D ————	配管用炭素鋼々管, (白) JIS-G-3452	ネジ込み式可鍛鑄鉄製管継手

※1. エアコン室内外連絡配線 (EM-CEE2[□]×3C) は冷媒管共巻きとする。
※2. 屋内外露出冷媒管は樹脂製化粧カバーにより保護する。

標準参考図

排水管路設置要領図 ①

排水管路設置要領図 ②

■ 貫通部において保温が必要な配管

■ 貫通部において保温が不要な配管

排水管路設置要領図 ③

■ 吊り金物

■ 形鋼振れ止め支持

冷媒配管結束要領図

■ 天井吊 (露出) 形機器の振れ止め例

配管の防火区画貫通部施工要領

冷媒管等区画貫通要領図

■ 天井吊 (露出) 形機器の振れ止め例

新設・移設機器振れ止め要領図

公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) 令和4年版 【施工30】

配管吊り金物・形鋼振れ止め支持要領

公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) 令和4年版 【施工13】

注 (f) (1) の a 材、インサート金物及び吊り用ボルトは、形鋼振れ止め支持部材選定表 (二) の (e) (f) (h) による。
(D) (2) の a 材及びインサート金物は、形鋼振れ止め支持部材選定表 (一) (c) による。
なお、形鋼振れ止めの接合は、全周すみ肉溶接とする。

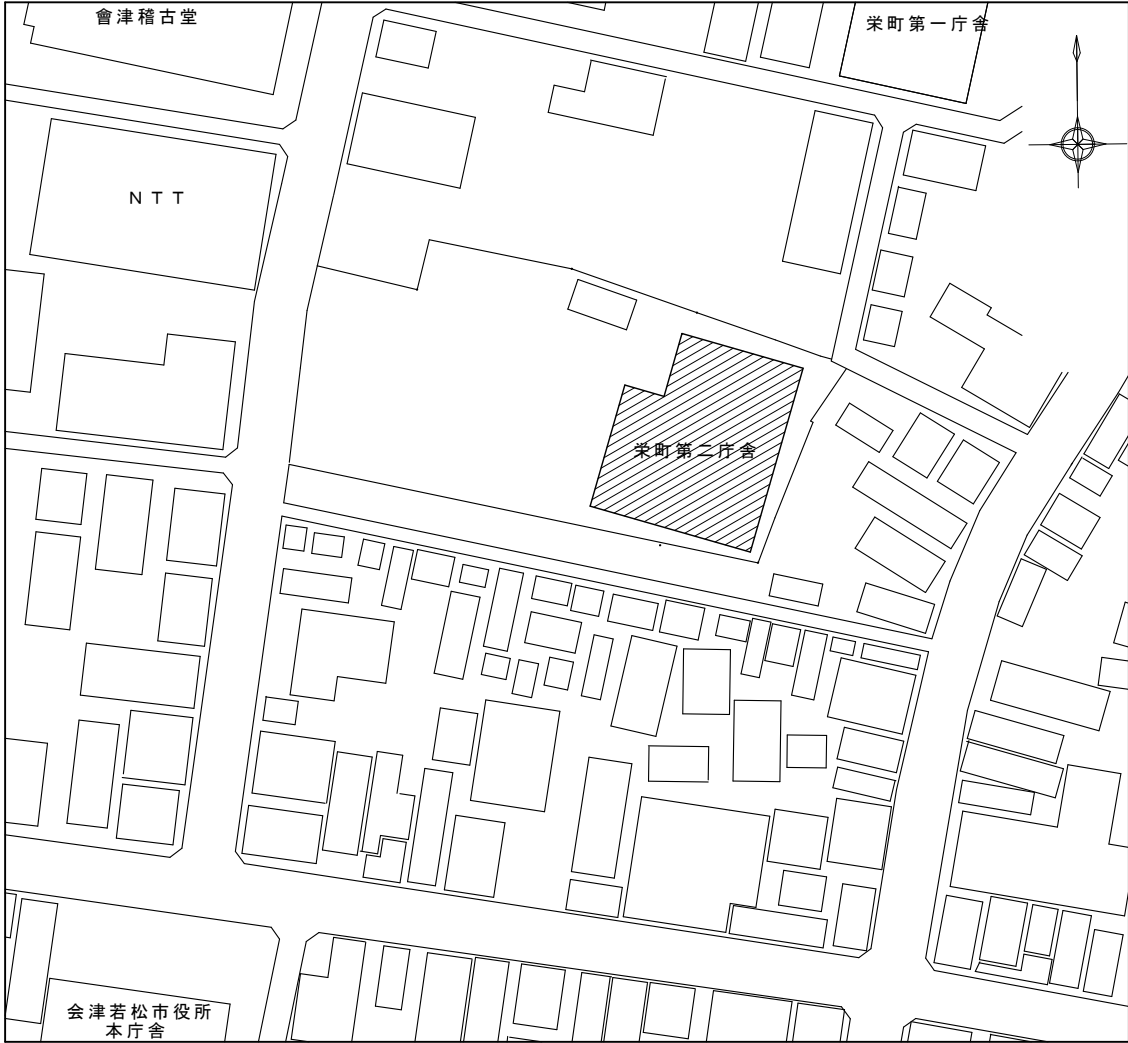
特記事項	A2 : 100%
	A3 : 71%

工事名称	栄町第二庁舎機械設備改修工事			承認	設計	担当
図面名称	凡例表、標準施工要領図					
縮 尺	NO SCALE	製作年月日	令和7年2月			

株式会社 創ライフ研究室
■ 本 社 : 金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室 : 喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530
1級建築士事務所登録 第15 (205) 0291号
管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号

図面番号
M-O 5

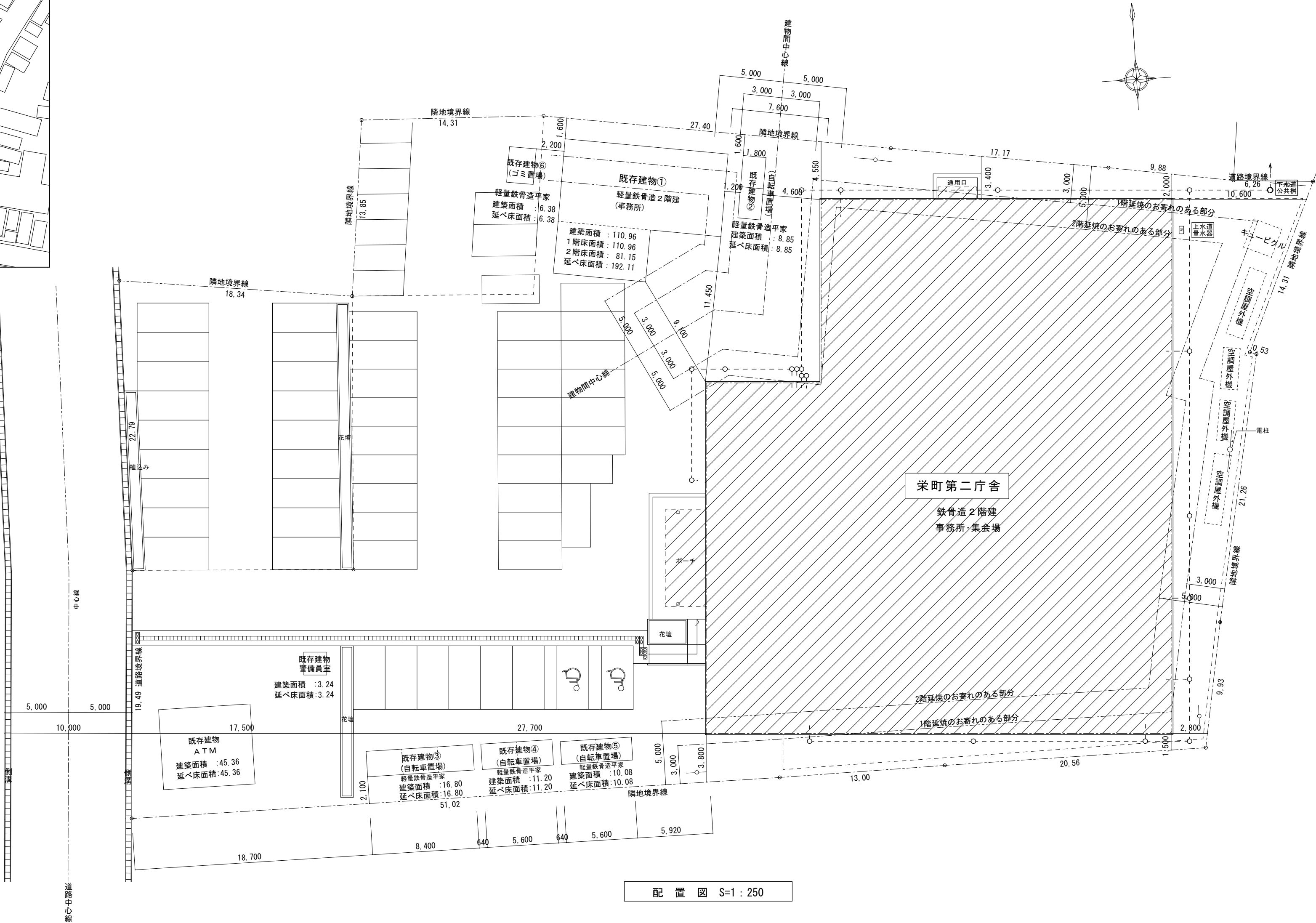
LABORATORY SOLIFE JOINT-STOCK COMPANY



案 内 図

機械設備工事概要

- 空調設備
 - ・間仕切り壁変更に伴い一部室内機の移設
 - ・上記に伴い冷媒ガスの引き抜き処分、新規冷媒ガスを封入
 - ・既設リモコンスイッチの移設取付け
 - ・1階相談室にルームエアコン（ACR-01）を新設
- 暖房設備
 - ・トイレ電気式ヒーターの更新
- 換気設備
 - ・換気扇の全面面更新及び一部新設（更新機器ダクトは既存利用）
 - ・各居室に24h換気用の給気口新設
- 衛生器具設備
 - ・1階多機能トイレを除く各所トイレ衛生器具は更新
 - ・トイレ以外の器具は現状利用が原則（湯沸室、各所執務室など）
 - ・小便器洗浄弁及び洗面器水栓は非接触式
- 給水設備
 - ・トイレ配管は一部更新、それ以外は現状利用が原則
 - ・不要配管は主管部にて切断キャップ止め
- 排水設備
 - ・トイレ配管は一部更新、それ以外は現状利用が原則
- 給湯設備
 - ・1階湯沸スペースの電気温水器新設
 - ・既設湯沸室ガス給湯機は作動確認の上、再利用
- 消火設備
 - ・消火器（ABC10号）の設置（歩行距離20m以内毎）



配 置 図 S=1：250

特記事項	A2：100%
	A3：71%

工事名称	栄 町 第 二 庁 舎 機 械 設 備 改 修 工 事			承認	設計	担当
図面名称	配置図・案内図					
縮 尺	S=1:250	製作年月日	令和7年2月			



株式会社 創ファイブ研究室
■ 本 社：会津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室：喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530
1級建築士事務所登録 第15(205)0291号
管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号

M-O 6

記 号	機器名称	仕 様	消費電力		台 数	適 用 ・ 備 考
			相・V	kw		
ACR-1	空 冷 式 ルーム エアコン	型 式 壁掛形 冷 房 能 力 3.6kw 暖 房 能 力 4.2kw 付 属 室外機壁掛架台	1φ200	2.89	1	現状使用
ACR-2	空 冷 式 ルーム エアコン 【 撤 去 処 分 】	型 式 壁掛形 冷 房 能 力 2.8kw 暖 房 能 力 3.6kw 付 属 室外機壁掛架台	1φ100	0.86	1	R32-0.63kg 【冷媒ガス引き抜き】
AC-01	パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン 【 撤 去 処 分 】	型 式 天井露出型 冷 房 能 力 12.5kw 暖 房 能 力 14.0kw 付 属 室外機高架台、H500	3φ200	3.87	1	R410A-3.8kg 【冷媒ガス引き抜き】
ACR-01	空 冷 式 ルーム エアコン 【 新 設 】	型 式 寒冷地仕様、壁掛形 冷 房 能 力 4.0kw (0.5～5.5kw) 暖 房 能 力 5.0kw (0.4～11.12kw) 付 属 74ℓリモコ、室外機壁掛架台 (溶融亜鉛メッキ)	1φ200 冷房時 暖房時	0.88 0.92	1	1階相談室
ACP-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 マルチ室外機 冷 房 能 力 56kw 暖 房 能 力 14.0kw 付 属 防雪フード、防振架台	3φ200	1.42	1	現状使用 R410A-11.5kg
ACP-1-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 4.5kw 暖 房 能 力 5.3kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.06	2	現状使用
ACP-1-2	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 5.6kw 暖 房 能 力 6.7kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.07	2	現状使用
ACP-1-3	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 7.1kw 暖 房 能 力 8.5kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.11	2	現状使用
ACP-1-4	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 9.0kw 暖 房 能 力 10.6kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.15	2	現状使用
ACP-2	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 マルチ室外機 冷 房 能 力 56kw 暖 房 能 力 67kw 付 属 防雪フード、防振架台	3φ200	1.42	1	現状使用 R410A-11.5kg
ACP-2-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 5.6kw 暖 房 能 力 6.7kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.07	3	現状使用
ACP-2-2	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 7.1kw 暖 房 能 力 8.5kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.11	3	現状使用
ACP-2-3	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 9.0kw 暖 房 能 力 10.6kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.15	2	現状使用
ACP-3	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 マルチ室外機 冷 房 能 力 56kw 暖 房 能 力 67kw 付 属 防雪フード、防振架台	3φ200	1.42	1	現状使用 R410A-16.0kg
ACP-3-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 9.0kw 暖 房 能 力 10.6kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.15	6	現状使用
ACP-4	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 マルチ室外機 冷 房 能 力 56kw 暖 房 能 力 67kw 付 属 防雪フード、防振架台	3φ200	1.42	1	R410A-11.5kg 【冷媒引抜き・再封入】
ACP-4-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 7.1kw 暖 房 能 力 8.5kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.11	4	取外し移設×4台
ACP-4-2	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 9.0kw 暖 房 能 力 10.6kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.15	2	現状使用
ACP-5	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 マルチ室外機 冷 房 能 力 35.5kw 暖 房 能 力 42.5kw 付 属 防雪フード、防振架台	3φ200	1.15	1	R410A-11.5kg 【冷媒引抜き・再封入】
ACP-5-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 11.2kw 暖 房 能 力 13.2kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.18	3	現状使用 ×2台 取外し移設×1台

記 号	機器名称	仕 様		消費電力		台 数	適 用 ・ 備 考
				相・V	kw		
ACP-6	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 マルチ室外機 冷 房 能 力 56kw 暖 房 能 力 67kw 付 属 防雪フード、防振架台	3φ200	1.42	1	R410A-11.5kg 【冷媒引抜き・再封入】	
ACP-6-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 1方向吹出室内機 冷 房 能 力 3.6kw 暖 房 能 力 4.2kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.06	1	現状使用	
ACP-6-2	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 3.6kw 暖 房 能 力 4.2kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.06	2	現状使用	
ACP-6-3	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 7.1kw 暖 房 能 力 8.5kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.11	1	現状使用	
ACP-6-4	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 9.0kw 暖 房 能 力 10.6kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.15	4	現状使用 ×2台 取外し移設×2台	
ACP-7	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 マルチ室外機 冷 房 能 力 56kw 暖 房 能 力 67kw 付 属 防雪フード、防振架台	3φ200	1.42	1	R410A-16.0kg 【冷媒引抜き・再封入】	
ACP-7-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 3.6kw 暖 房 能 力 4.2kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.06	1	現状使用	
ACP-7-2	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 9.0kw 暖 房 能 力 10.6kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.15	4	現状使用 ×2台 取外し移設×2台	
ACP-7-3	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 11.2kw 暖 房 能 力 13.2kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.18	2	現状使用	
ACP-8	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 マルチ室外機 冷 房 能 力 56kw 暖 房 能 力 67kw 付 属 防雪フード、防振架台	3φ200	1.42	1	現状使用 R410A-11.5kg	
ACP-8-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 11.2kw 暖 房 能 力 13.2kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.18	4	現状使用	
ACP-8-2	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 14.0kw 暖 房 能 力 17.0kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.23	1	現状使用	
ACP-9	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 マルチ室外機 冷 房 能 力 45kw 暖 房 能 力 53kw 付 属 防雪フード、防振架台	3φ200	1.42	1	R410A-16.0kg 【冷媒引抜き・再封入】	
ACP-9-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 4.5kw 暖 房 能 力 5.3kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.06	1	取外し移設×1台	
ACP-9-2	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 2方向吹出室内機 冷 房 能 力 7.1kw 暖 房 能 力 8.5kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.11	1	現状使用	
ACP-9-3	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 9.0kw 暖 房 能 力 10.6kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.15	1	現状使用	
ACP-9-4	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 11.2kw 暖 房 能 力 13.2kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.18	2	現状使用	
ACP-10	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 マルチ室外機 冷 房 能 力 45kw 暖 房 能 力 53kw 付 属 防雪フード、防振架台	3φ200	1.42	1	R410A-11.5kg 【冷媒引抜き・再封入】	
ACP-10-1	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 9.0kw 暖 房 能 力 10.6kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.15	2	取外し移設×1台	
ACP-10-2	空 冷 式 ガス ヒートポンプ エアコン	型 式 天井カセット形 4方向吹出室内機 冷 房 能 力 11.2kw 暖 房 能 力 13.2kw 付 属 化粧パネル、リモコンスイッチ、防振吊金具	1φ200	0.18	2	取外し移設×2台	
EHP-1	パ ネ ル ヒ ー タ ー	型 式 電気式 壁掛タイプ、鋼板製粉体塗装品 暖 房 参 考 寸 法 0.5kw 490*×500*×70° 付 属 壁掛金物、いたずら防止スイッチカバー	1φ200	0.5	2	撤去×1台・新設2台	
EHP-2	パ ネ ル ヒ ー タ ー	型 式 電気式 壁掛タイプ、鋼板製粉体塗装品 暖 房 参 考 寸 法 1.0kw 680*×500*×70° 付 属 壁掛金物、いたずら防止スイッチカバー	1φ200	1.0	4	撤去×4台・新設4台	


特記事項

※1. 室内機「取外し移設」の有る系統冷媒ガスは引き抜き処分の後、新設冷媒再封入を行う。（ACP-4,5,6,7,9,10）
※2. 引き抜いた冷媒ガスは関係法規に準じて適切に処分すること。
※3. ACR-2, AC-01, ACR-01, EHP-1, EHP-2以外の機器はリース品

A2: 100%

A3: 71%

工事名称	栄 町 第 二 庁 舎 機 械 設 備 改 修 工 事				
図面名称	現 況 ・ 改 修 冷 暖 房 設 備 機 器 表			承認	設計
縮 尺	NO SCALE	製作年月日	令和7年2月		



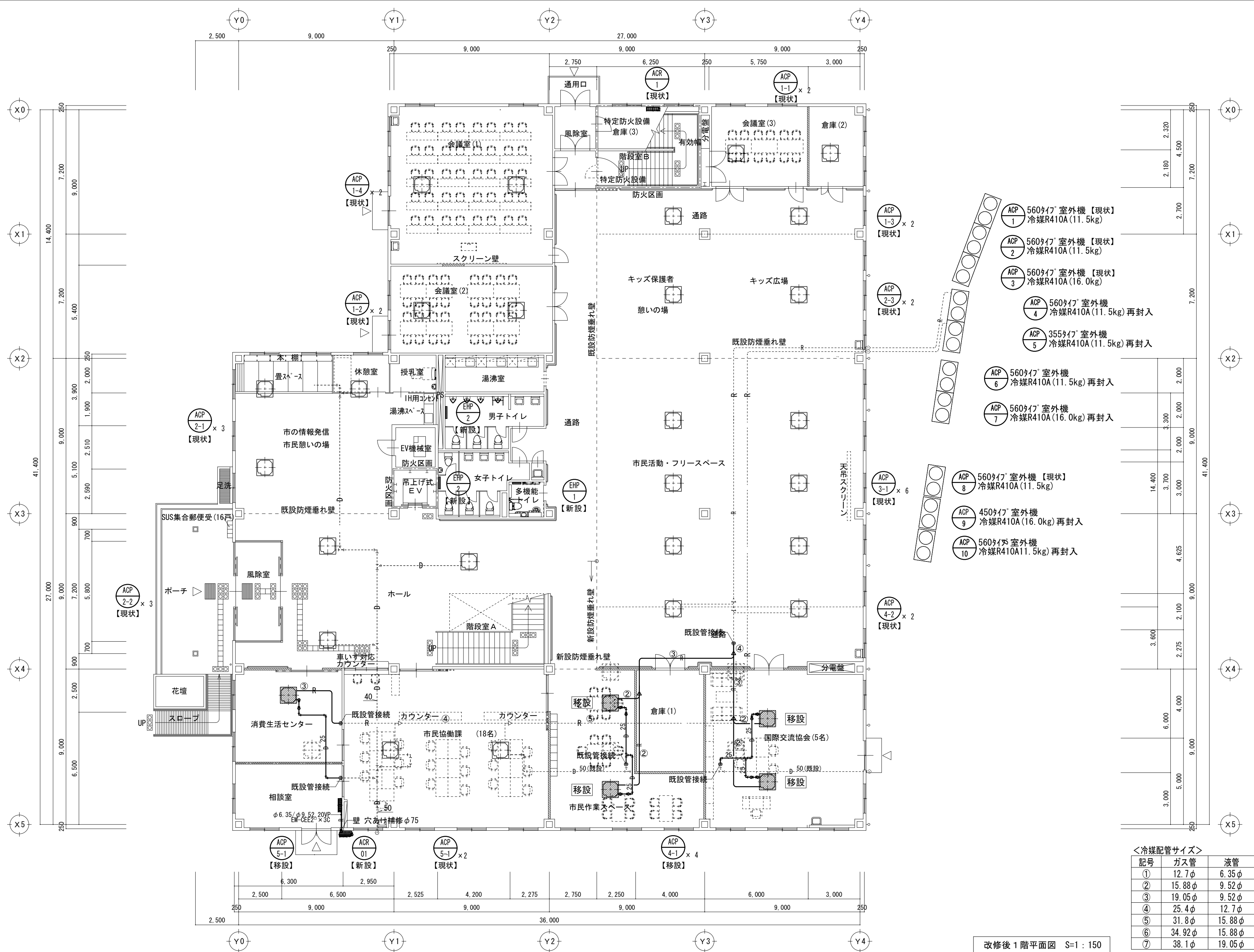
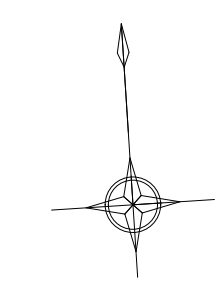
株式会社 創ライフ研究室


■ 本 社 : 会津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室 : 喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530
1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 15 (205) 0291 号
管理建築士 五十嵐 智一 1 級 建 築 士 第 268314 号

図面番号

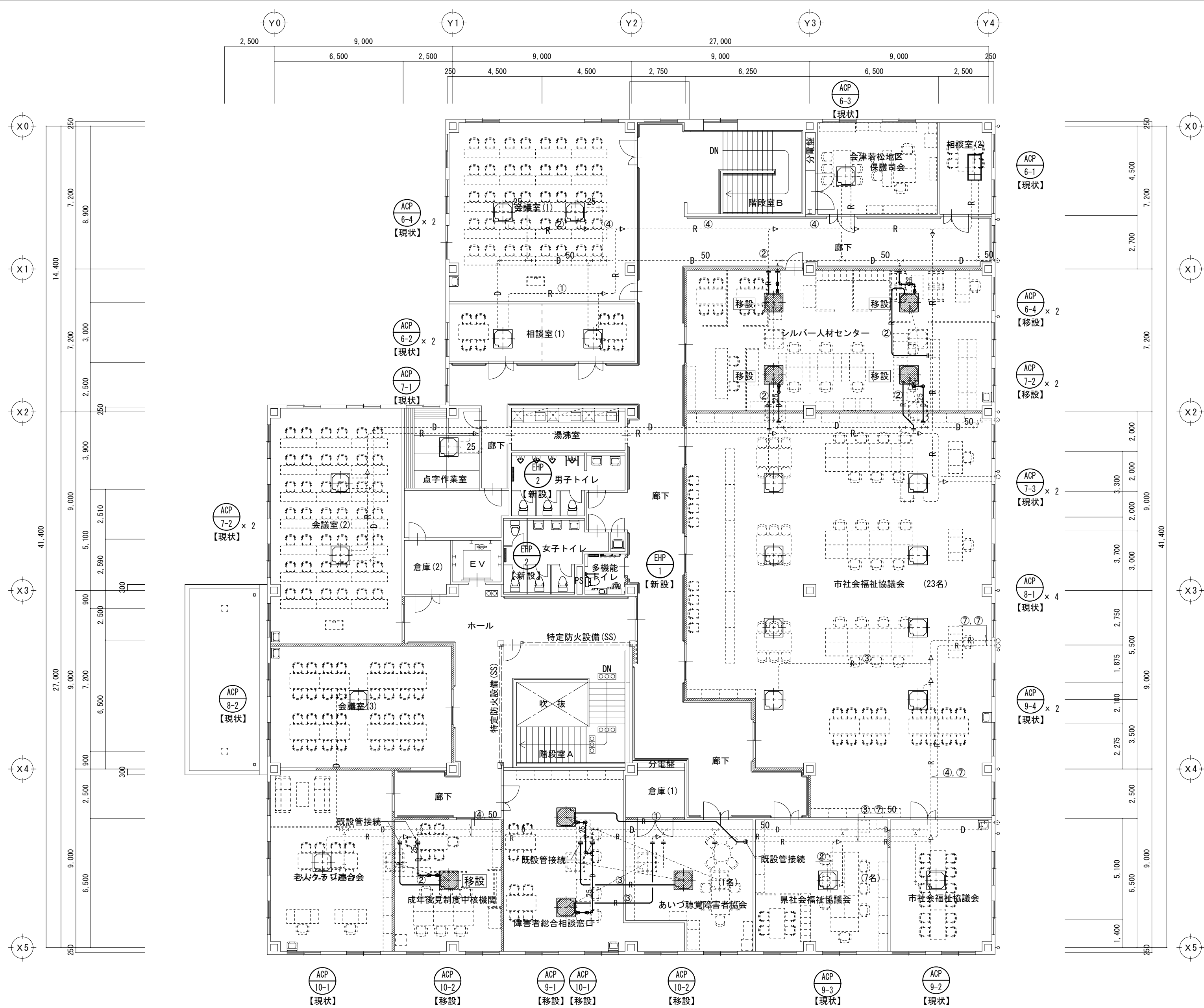
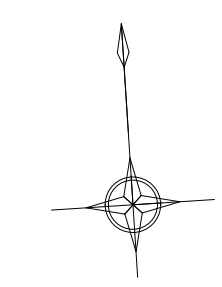
M-07

LABORATORY SOLILIFE JOINT-STOCK COMPANY



特記事項	※1. 機器移設改修に伴いACP-4・5・6・7・9・10 系統の冷媒ガス(R410A)を更新する。	A2 : 100%					
	※2. 切替制御配線はエコケーブル(EM-CEES1.25 [□] ×2C)使用の事。	A3 : 71%					
	※3. 各所室内機フィルター等は清掃を行う。(フィルターに破損等有る場合は監督員と協議する)						
	※4. 相談室露出配管は樹脂製スリムダクト保護とする。						
工事名称		栄町第二庁舎機械設備改修工事			<div></div> <div>株式会社 創ライフ研究室</div> <div>■ 本 社 : 金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285</div> <div>□ 研究室 : 喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530</div> <div>1 級建築士事務所登録 第15(205)0291号</div> <div>管理建築士 五十嵐 智一 1 級建築士 第268314号</div>	図面番号	
図面名称		改修 冷暖房設備 1 階平面図		承認		設計	担当
縮 尺		S=1:150	製作年月日	令和7年2月			
							M-O 8

改修後



改修後 2階平面図 S=1:150

＜冷媒配管サイズ＞		
記号	ガス管	液管
①	12.7φ	6.35φ
②	15.88φ	9.52φ
③	19.05φ	9.52φ
④	25.4φ	12.7φ
⑤	31.8φ	15.88φ
⑥	34.92φ	15.88φ
⑦	38.1φ	19.05φ

特記事項 ※1. 機器移設改修に伴いACP-4・5・6・7・9・10 系統の冷媒ガス(R410A)を再封入する。 A2:100%

※2. 切替制御配線はエコケーブル(EM-CEES1.25[□]×2C)使用の事。 A3: 71%

※3. 各所室内機フィルター等は清掃を行う。(フィルターに破損等がある場合は監督員と協議する)

工事名称

栄町第二庁舎機械設備改修工事

図面名称

改修 冷暖房設備2階平面図

縮尺

S=1:150

製作年月日

令和7年2月

承認

設計

担当

株式会社 創ライフ研究室

■ 本社：金沢市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285

□ 研究室：金沢市白鳥町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530

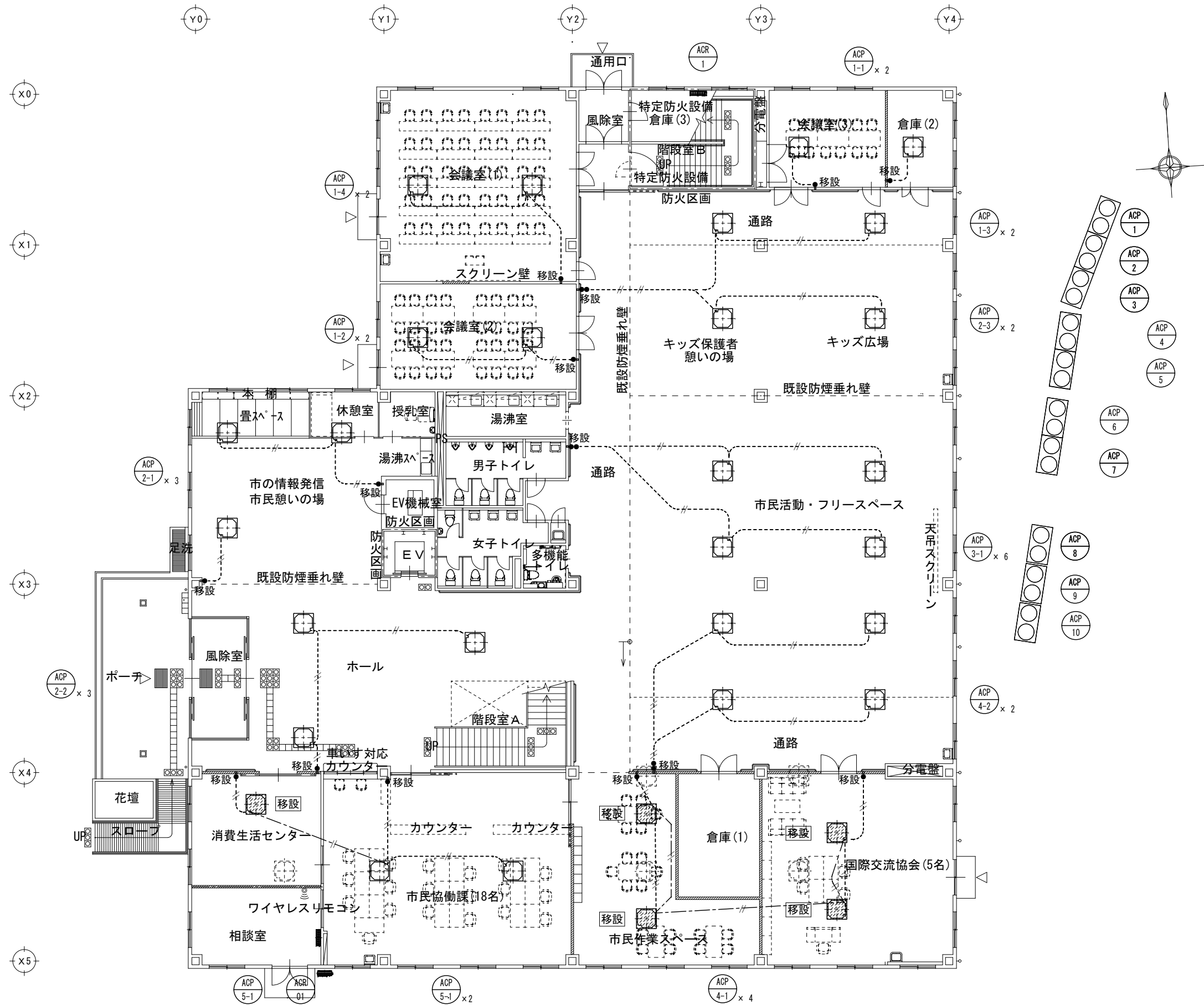
1級建築士事務所登録 第15(205)0291号

管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号

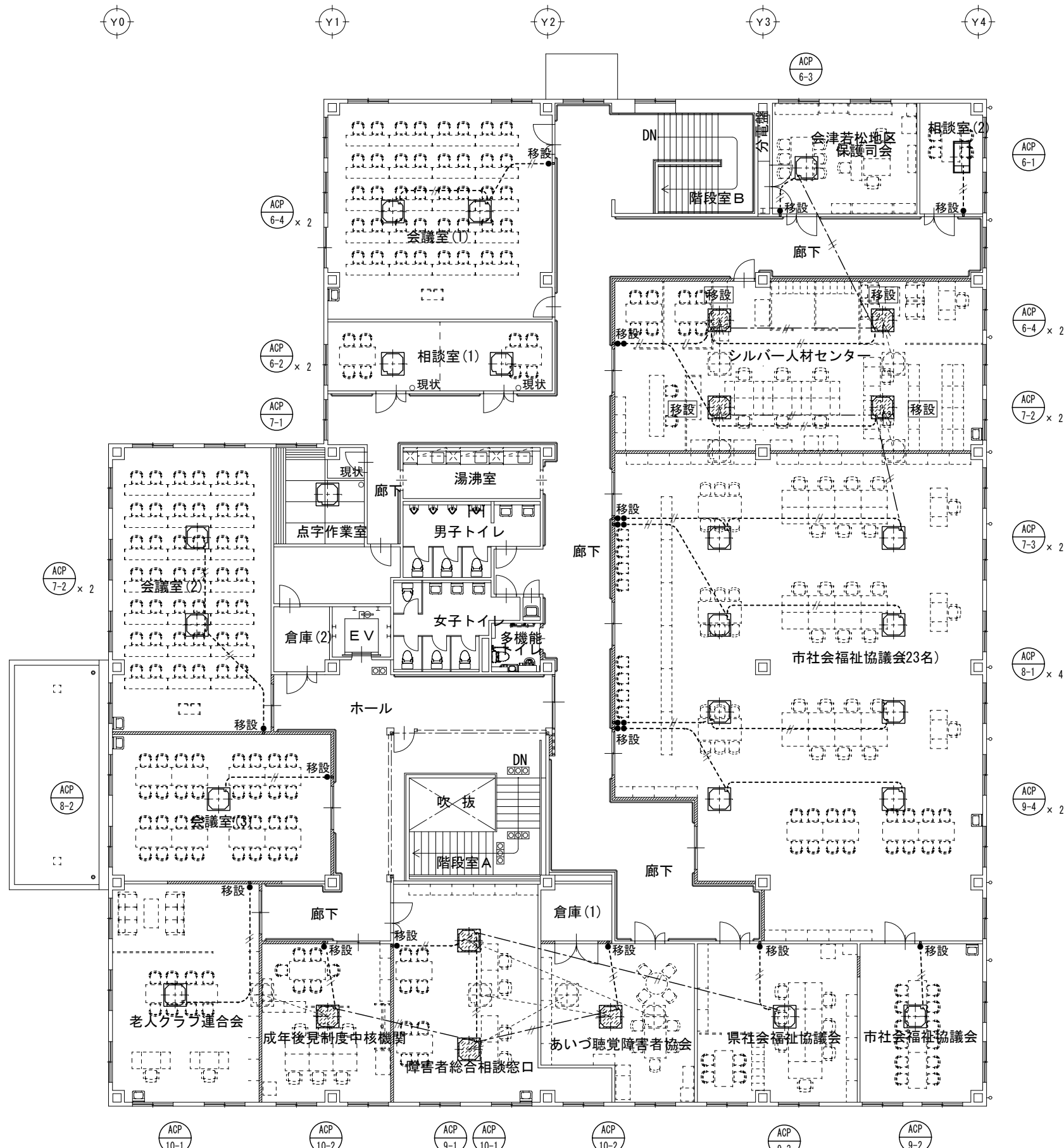
図面番号

M-O 9

LABORATORY SOLIFE JOINT-STOCK COMPANY



改修後 1 階平面図 S=1 : 200

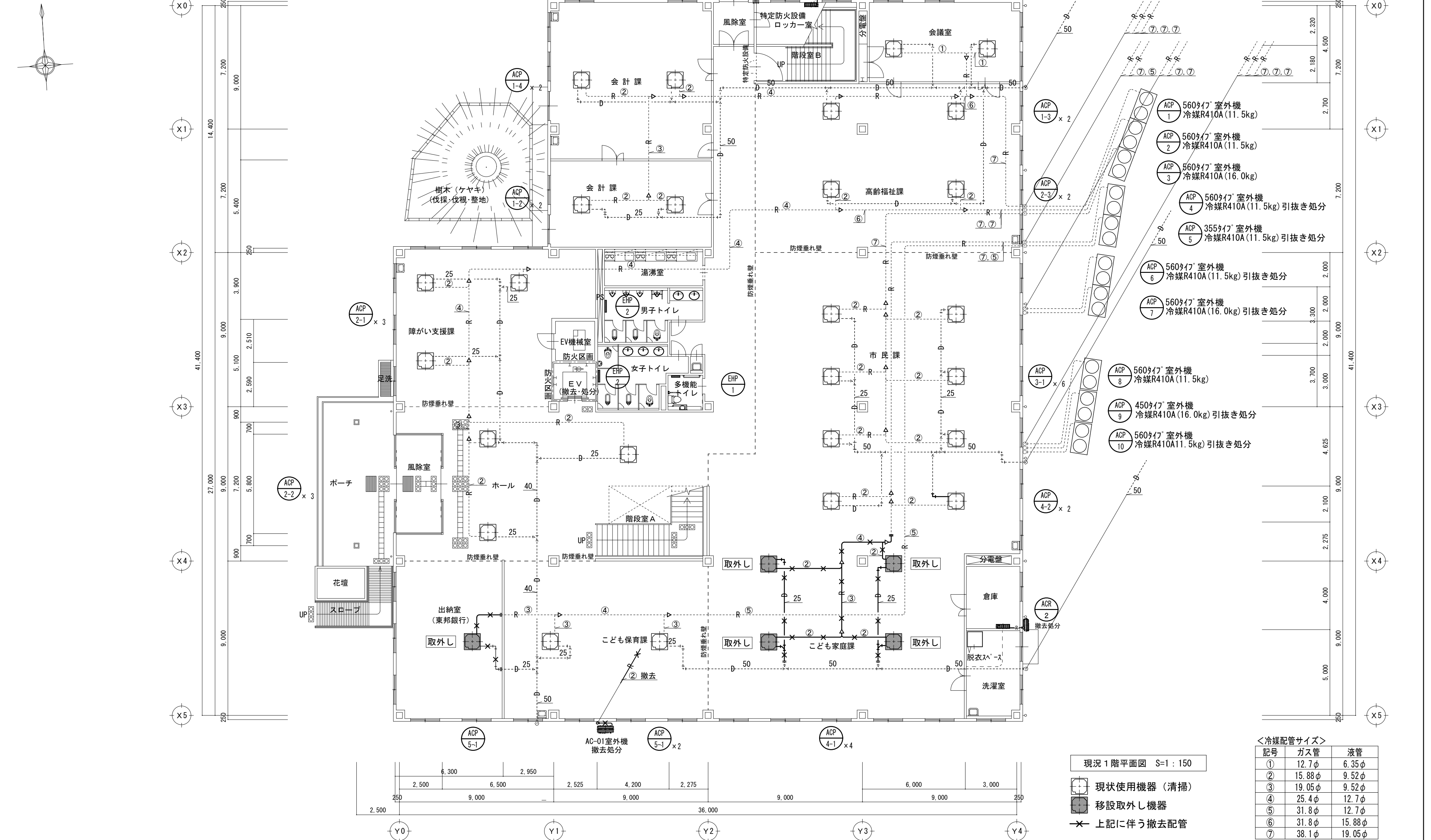


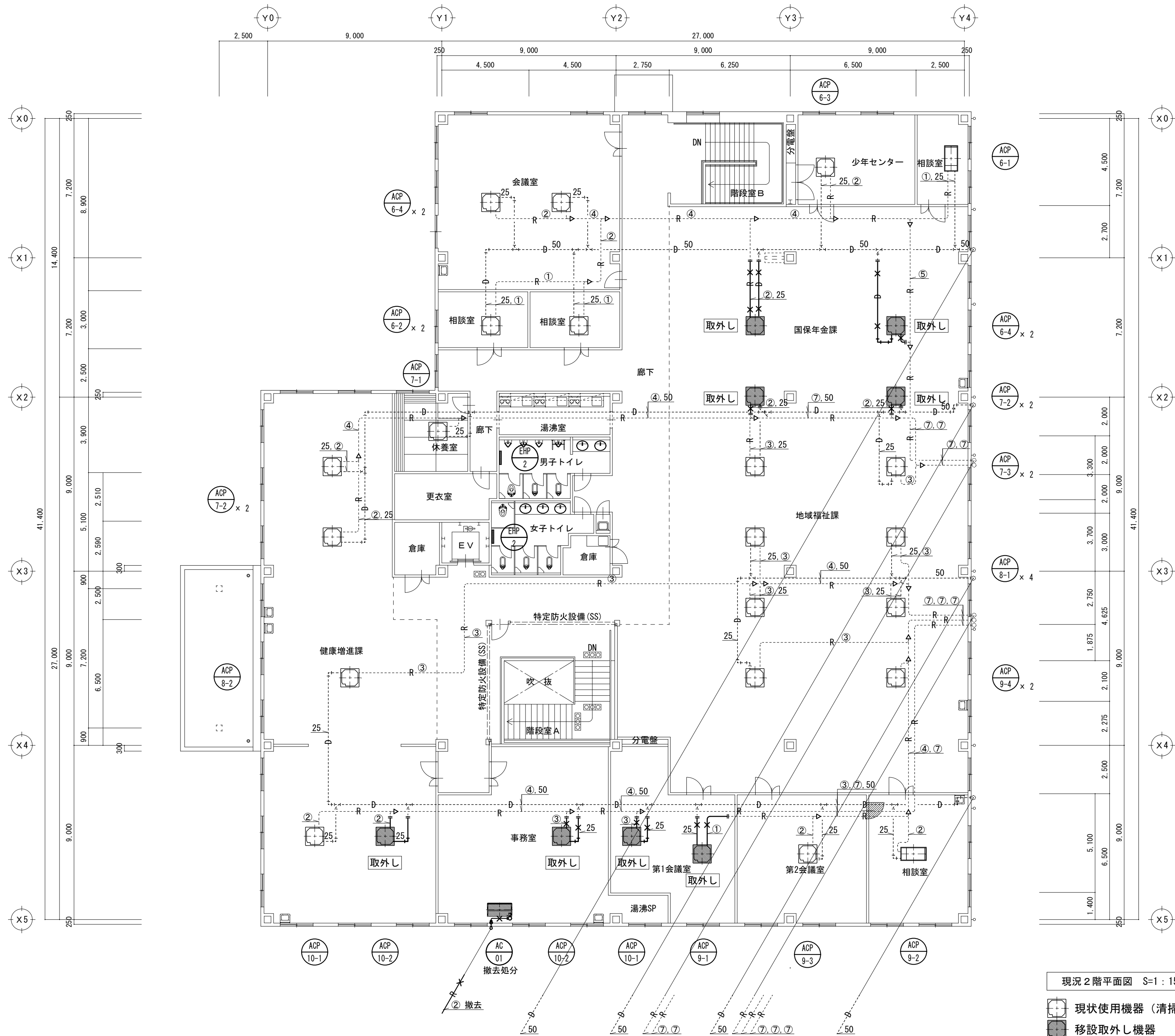
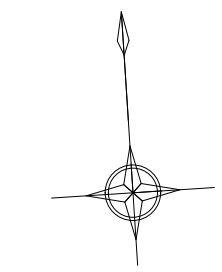
改修後 2 階平面図 S=1 : 200

- : リモコンスイッチ現状使用
- : リモコンスイッチ移設取付
配線立上げP.F.保護
- : リモコンスイッチ移設取付
配線立上げメタルモール保護

特記事項	※1. リモコン設置位置は参考とし、現場協議により決定の事。	A2 : 100%
	※2. リモコン配線はエコケーブル (EM-CEES1. 25□×2C) 使用の事。【記号 : ---#---】	A3 : 71%
	※3. 室内外機渡り制御配線張替えに於いてもエコケーブル (EM-CEES1. 25□×2C) 使用の事。【記号 : ---#---】	
	※4. リモコン配線立下げ箇所は新設壁部分をPF16保護、既設壁露出部をメタルモール保護とする。	

工事名称		栄町第二庁舎機械設備改修工事			<div><div>株式会社 創ライフ研究室</div><div>■ 本社 : 金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285</div><div>□ 研究室 : 喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530</div><div>1級建築士事務所登録 第15(205)0291号</div><div>管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号</div></div>	図面番号
図面名称		改修 冷暖房設備制御配線 1・2 階平面図	承認	設計		担当
縮 尺	S=1:200	製作年月日	令和7年2月			





現況 2 階平面図 S=1 : 150

- 現状使用機器 (清掃)
■ 移設取外し機器
✕ 上記に伴う撤去配管

＜冷媒配管サイズ＞		
記号	ガス管	液管
①	12.7φ	6.35φ
②	15.88φ	9.52φ
③	19.05φ	9.52φ
④	25.4φ	12.7φ
⑤	31.8φ	12.7φ
⑥	31.8φ	15.88φ
⑦	38.1φ	19.05φ

特記事項 ※1. 各機器は工事着手前に運転状況を確認、異常等が確認された場合は監督員に報告する。	A2 : 100%
※2. 機器移設改修に伴い A C P - 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 9 ・ 10 系統の冷媒ガスは引き抜き処分とする。(移設改修後再充填)	A3 : 71%

工事名称	栄町第二庁舎機械設備改修工事		
図面名称	現況 冷暖房設備 2 階平面図	承認	設計 担当
縮 尺	S=1:150	製作年月日	令和7年2月

株式会社 創ライフ研究室
■ 本 社 : 金沢若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室 : 喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530
1級建築士事務所登録 第15(205)0291号
管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号

図面番号
M-12

現況機器表

記 号	機器名称	仕 様	台 数	備 考
HEA-1	熱 交 換 換 気 扇	型風ダクト 式量径属 天井埋込形 500m3/h 200φ 専用コントロールスイッチ	16	撤去処分
FS-1	同 時 給 排 型 換 気 扇	型風ダクト 式量径属 天井埋込ツインファン 300m3/h 150φ 専用コントロールスイッチ	1	撤去処分
FE-1	レ ン ジ フ ード ファン	型風ダクト 式量径属 深形、6 0 0 ワイド 600m3/h 150φ	6	現状利用
FE-2	ス ト レ ー ト シ ロ ッ コ ファン	型風ダクト 式量径属 天井埋込形 静音型 1000m3/h 200φ	1	現状利用
FE-3	天 井 埋 込 換 気 扇	型風ダクト 式量径属 事務所用 低騒音型 300m3/h 150φ	2	撤去処分
FE-4	中 間 フ ァ ン	型風ダクト 式量径属 トイレ用 100m3/h 100φ 補助グリル	9	撤去処分
FE-5	中 間 フ ァ ン	型風ダクト 式量径属 浴室用 20m3/h 100φ 補助グリル	1	撤去処分
FW-1	換 気 扇	型風羽付根 式量径属 有圧扇 550m3/h 20 c m シャッター付ウェザーカバー	11	撤去処分
FW-2	換 気 扇	型風羽付根 式量径属 有圧扇 1000m3/h 25 c m シャッター付ウェザーカバー	7	撤去処分
FW-3	換 気 扇	型風羽付根 式量径属 インテリアタイプ 460m3/h 20 c m シャッター付ウェザーカバー	5	撤去処分


※1. 現状使用機器に不具合が有る場合は監督員に報告、協議する。

改修機器表

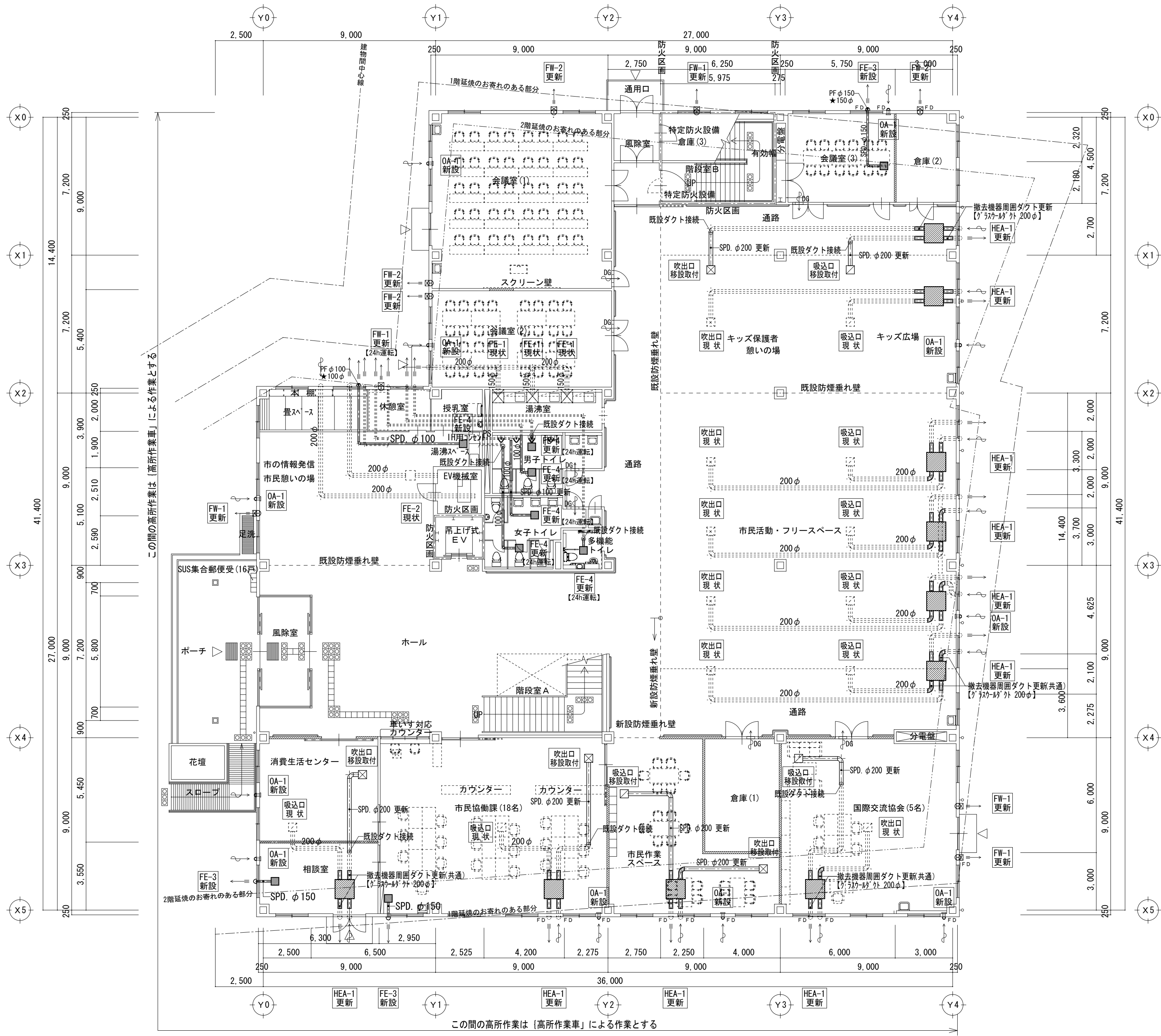
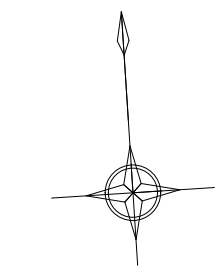
記 号	機器名称	仕 様	台 数	備 考
HEA-1	熱 交 換 換 気 扇	型風ダクト 式量径属 天井埋込形、マイコンタイプ 500m3/h×130Pa 【AC100 v ~240w】 200φ 専用コンパクトリモコン	16	参考：LGH-N50RX。
FS-1	同 時 給 排 型 換 気 扇	型風ダクト 式量径属 ストレートシロッコファン 250m3/h×60Pa 【AC100 v ~75w】 150φ 専用コントロールスイッチ	1	参考：BFS-300WSU。
FE-1	レ ン ジ フ ード ファン 【 現 状 】	型風ダクト 式量径属 深形、6 0 0 ワイド 600m3/h 150φ	6	清掃の上現状利用
FE-2	ス ト レ ー ト シ ロ ッ コ ファン 【 現 状 】	型風ダクト 式量径属 天井埋込形 静音型 1000m3/h 200φ	1	清掃の上現状利用
FE-3	天 井 埋 込 換 気 扇	型風ダクト 式量径属 樹脂製低騒音型 300m3/h×80Pa 【AC100 v ~44w】 150φ SUS製パイプフード（新設機器部分のみ）	7	参考：VD-20ZC _{1,4}
FE-4	天 井 埋 込 換 気 扇	型風ダクト 式量径属 樹脂製低騒音型 160m3/h×50Pa 【AC100 v ~20w】 100φ SUS製パイプフード（新設機器部分のみ）	11	参考：VD-15ZPC _{1,4}
OA-1	給 気 口	型風ダクト 式量径属 開閉機能付給排気グリル 200m3/h×30Pa 150φ ネットフィルター、SUS製パイプフード	27	必要箇所はF D 付き 参考：P-18GLF。
				必要箇所はF D 付き
FW-1	換 気 扇	型風羽付根 式量径属 電気シャッター式、格子タイプ有圧扇 400m3/h×15Pa 【AC100 v ~17w】 20 c m S U S 製ウェザーカバー（防虫網付）	15	参考：EFG-20KSB ₂
FW-2	換 気 扇	型風羽付根 式量径属 電気シャッター式、格子タイプ有圧扇 800m3/h×20Pa 【AC100 v ~35w】 25 c m S U S 製ウェザーカバー（防虫網付）	7	必要箇所はF D 付き 参考：EFG-25KSB ₂
				必要箇所はF D 付き

- ※1. 表示型番は参考とする。
※2. 新設天井埋込換気扇用ベンドキャップは既存品に合わせ「S U S 製丸形パイプフード」を使用する。
※3. F D 表示の「パイプフード」「ウェザーカバー」は防火ダンパー付とする。

特記事項	A2 : 100%
	A3 : 71%

工事名称	栄町第二庁舎機械設備改修工事				承認	設計	担当	<div><div>株式会社 創ライフ研究室 ■ 本社：金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285 □ 研究室：喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530 1級建築士事務所登録 第15(205)0291号 管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号</div></div>	図面番号
図面名称	現況・改修 換気設備機器表								
縮 尺	NO SCALE	製作年月日	令和7年2月						

改修後



室名：市の情報発信・市民憩いの場
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 95.93 / 3 = 640 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 800 \text{ m}^3/\text{h}$
FW-1×2台

室名：会議室（1）
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 87.87 / 3 = 586 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 1,600 \text{ m}^3/\text{h}$
FW-2×2台

室名：会議室（2）
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 48.92 / 3 = 327 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 800 \text{ m}^3/\text{h}$
FW-2×1台

室名：会議室（3）
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 27.31 / 3 = 183 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 300 \text{ m}^3/\text{h}$
FE-3×1台

室名：キッズ広場・キッズ保護者憩いの場
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 111.60 / 3 = 744 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 1,000 \text{ m}^3/\text{h}$
HEA-1×2台

室名：市民活動・フリースペース
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 223.20 / 3 = 1,488 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 2,000 \text{ m}^3/\text{h}$
HEA-1×4台

室名：消費者生活センター・相談室
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 34.33 / 3 = 229 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 500 \text{ m}^3/\text{h}$
HEA-1×1台

室名：相談室
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 23.95 / 3 = 160 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 300 \text{ m}^3/\text{h}$
FE-3×1台

室名：男女共同参画推進・市民活動団体の支援拠点
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 110.53 / 3 = 737 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 800 \text{ m}^3/\text{h}$
HEA-1×1台、FE-3×1台

室名：市民作業スペース
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 59.25 / 3 = 395 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 500 \text{ m}^3/\text{h}$
HEA-1×1台


室名：国際交流協会
建基令による有効換気量（令第二十条の二第一項（ロ））
 $V = 2.0 A f / N$
必要換気量 $V = 20 \times 85.56 / 3 = 571 \text{ m}^3/\text{h}$
設計換気量 $V = 1,300 \text{ m}^3/\text{h}$
HEA-1×1台、FW3×2台

V：有効換気量（m³/h）
A f：居室床面積（m²）
N：1人当たりの占有面積（m²）

-----：既設ダクト
=====：新設スパイラルダクト
=====：新設グラスウールダクト

特記事項	※1. 全熱交換機周囲更新ダクトはグラスウールダクトを使用。	※5. 新設ダクト保温施工（GW25mm）範囲は下記による。	A2：100%
	※2. 換気スイッチ配線は電気設備工事とする。	OA・SA：全長、EA：外壁面より2m、RA：保温無	A3：71%
	※3. 新設パイプフード取付け面はダクト同径の穴あけ補修を見込む。（記号：★）	※6. 南面及び西面は高所作業車使用する。（他は建築足場利用）	
	※4. 延焼ラインに掛かるパイプフード及びウェザーカバーは防火ダンパー付とする。（記号：FD）		

工事名称	栄町第二庁舎機械設備改修工事		
図面名称	改修 換気設備 1階平面図	承認	設計 担当
縮尺	S=1:150	製作年月日	令和7年2月

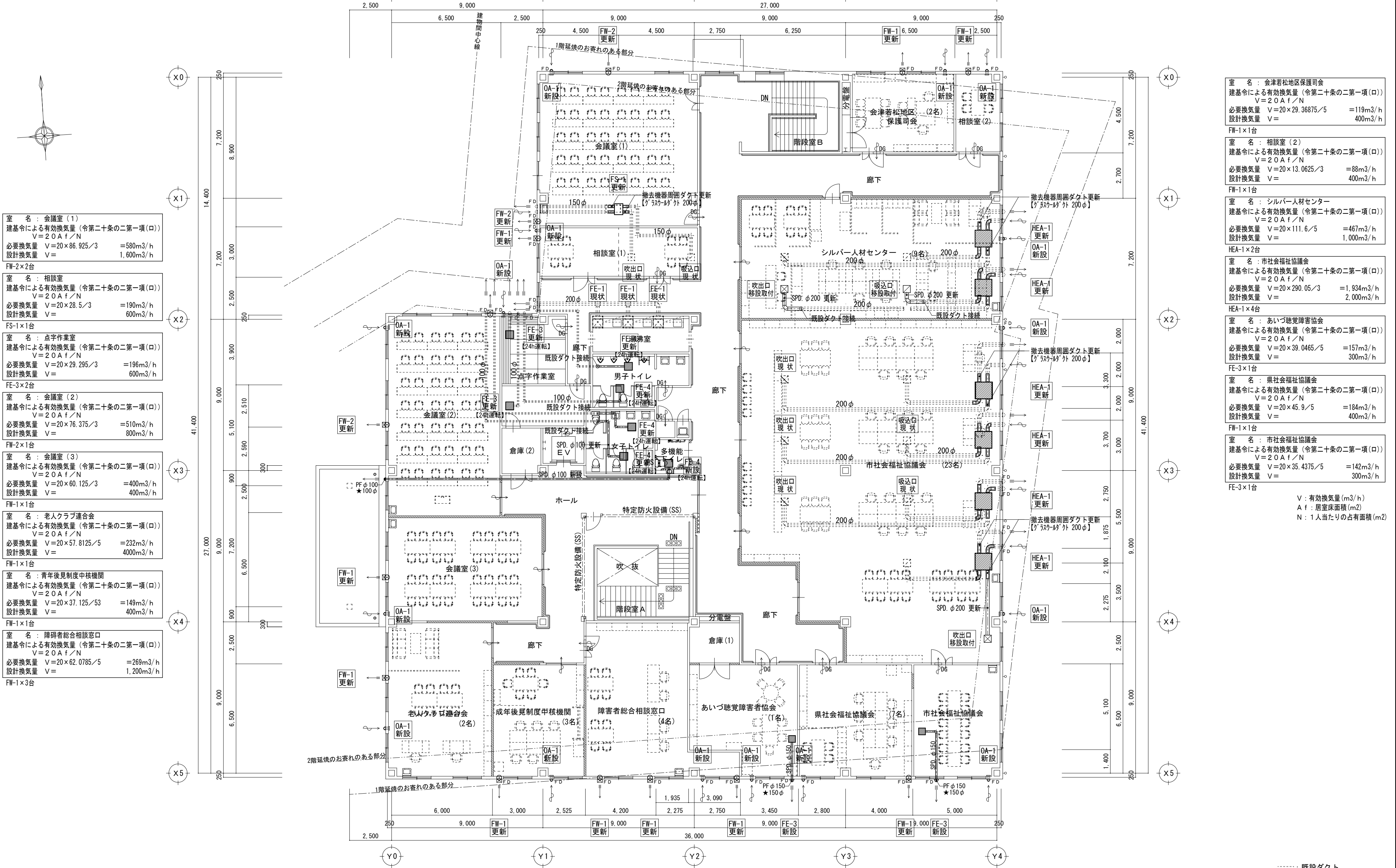


ソライフ研究所
Solife Architect Office

■ 本社：金津若松市白虎町33番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室：喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530
1級建築士事務所登録 第15(205)0291号
管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号

図面番号
M-14

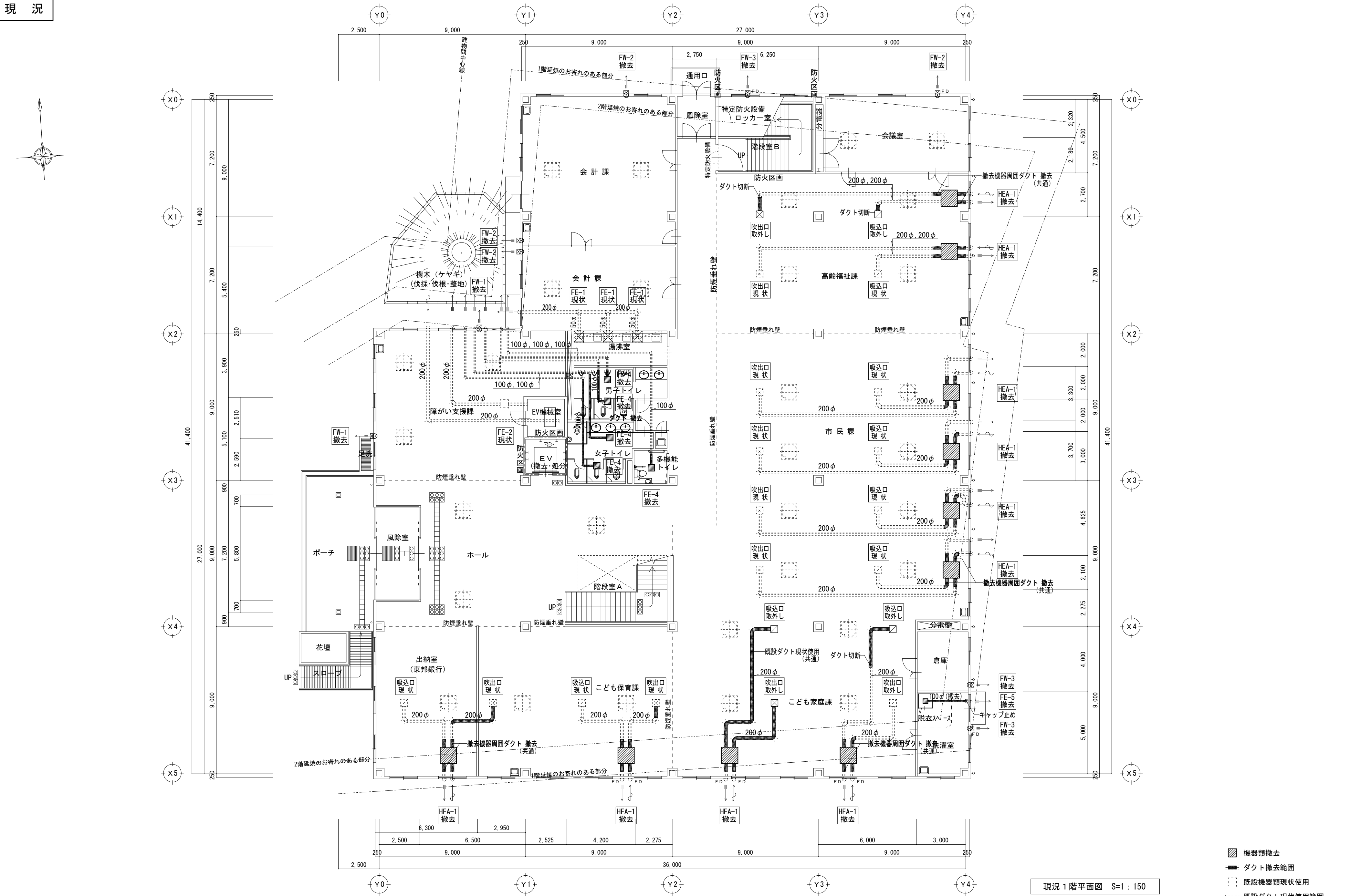
改修後




改修後 2 階平面図 S=1 : 150

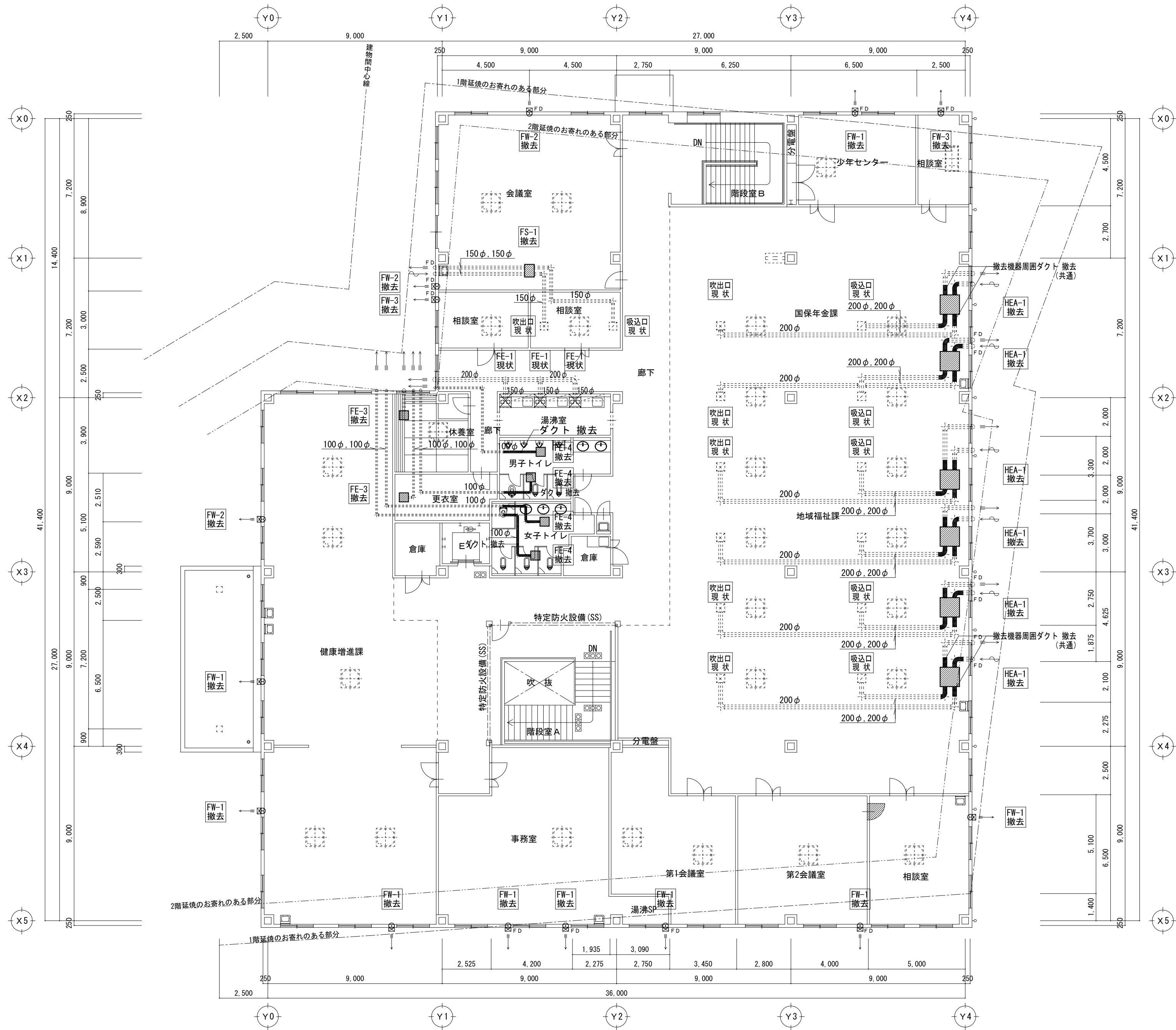
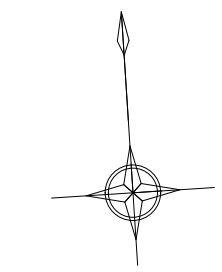
特記事項	※1. 全熱交換機周囲更新ダクトはグラスウールダクトを使用。	※5. 新設ダクト保温施工 (GW25mm) 範囲は下記による。	A2 : 100%	工事名称 米 町 第 二 庁 舎 機 械 設 備 改 修 工 事	承認				 株式会社 創ライフ研究室 ■ 本 社 : 会津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285 □ 研究室 : 喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530 1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 15 (205) 0291 号 管 理 建 築 士 五 十 嵐 智 一 1 級 建 築 士 第 268314 号	図面番号 M-15
	※2. 換気スイッチ配線は電気設備工事とする。	OA・SA : 全長、EA : 外壁面より 2 m、RA : 保温無	A3 : 71%							
	※3. 新設パイプフード取付け面は穴あけ補修を見込む。(記号 : ★)									
	※4. 延焼ラインに掛かるパイプフード及びウェザーカバーは防火ダンパー付とする。(記号 : F D)									
縮 尺 S=1:150				製作年月日	令和7年2月					

-----: 既設ダクト
=====: 新設スパイラルダクト
=====: 新設グラスウールダクト



特記事項	※1. ダクト換気用屋外パイプフードは現状仕様とし、F D等機能に問題がある場合は監督員協議により更新する。	A2 : 100%	工事名称	米 町 第 二 庁 舎 機 械 設 備 改 修 工 事				<div><div>株式会社 創ライフ研究室</div><div>■ 本 社 : 金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285</div><div>□ 研究室 : 喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530</div><div>1級建築士事務所登録 第15(205)0291号</div><div>管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号</div><div>Solife Architect Office</div></div>	図面番号				
	※2. 壁換気扇用ウエザーカバーは全数更新とし、南面及び西面は高所作業車により施工する。	A3 : 71%		図面名称	現 況 換 気 設 備 1 階 平 面 図					承認	設計	担当	
					縮 尺	S=1:150	製作年月日						令和7年2月

M- 1 6



現況 2 階平面図 S=1 : 150


特記事項 ※1. ダクト換気用屋外パイプフードは現状仕様とし、F D 等機能に問題が有る場合は監督員協議により更新する。

A2 : 100%

※2. 壁換気扇用ウェザーカバーは全数更新とし、南面及び西面は高所作業車により施工する。

A3 : 71%

工事名称	栄町第二庁舎機械設備改修工事		
図面名称	現況 換気設備 2 階平面図		
縮 尺	S=1:150	製作年月日	令和7年2月



株式会社 創ライフ研究室
■ 本社：金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室：喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530
1級建築士事務所登録 第15(205)0291号
管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号

図面番号
M-17

現況器具

器具名称	仕 様	1・2階 男子便所	1・2階 女子便所	1階 多機能トイレ	洗濯室	相談室	1階 各課事務室・会議室	2階 各課事務室・会議室	1階 湯沸室	2階 湯沸室	合計	適用 備考
和風大便器	寒冷地用 防露式手洗無しロータンク ステンレス製ワンタッチ紙巻器	2	3								5	撤去処分
和風大便器	寒冷地用（フレンジ形） 防露式手洗無しロータンク ステンレス製ワンタッチ紙巻器 耐火カバー付	2	3								5	撤去処分
洋 風 便 器	C710 防露式手洗無し隅付きロータンク ステンレス製ワンタッチ紙巻器 暖房便座	2	2								4	撤去処分
洋 風 便 器	C1110 自動フラッシュバルブ（押ボタン付光電センサー） ステンレス製ワンタッチ紙巻器 暖房便座			1							1	取 外 し 再 設 置
ストール小便器	U322R 一般壁用自動フラッシュバルブ（AC100V）	8									8	撤去処分
トイレ用擬音装置	AC100V		8								8	撤去処分
はめ込み洗面器	丸型（フレーム式） 自動水栓（AC100V） プトラップ 【カウンター撤去は建築】	4	6								10	撤去処分
洗面器	VL-630 プトラップ				1						1	現状利用
埋込手洗器	250×200 自閉水栓 プトラップ			1							1	現状利用
カウンター	ブラケット式 一方エプロン 1900L（廉価シリーズ）	2									2	撤去は 建 築
カウンター	ブラケット式 一方エプロン 2800L（廉価シリーズ）		2								2	撤去は 建 築
化粧鏡	450×610×5t（耐食形）	4	6		1						11	撤去処分
傾斜鏡	照明無し			1							1	現状利用
掃除流し	VS210 ストラップ		2								2	撤去処分
洗濯機パン	900タイプ（ABSトラップ）				1						1	撤去処分
洗面化粧台	600タイプ 単水栓、ストラップ						5	6			11	現状利用
洗面化粧台	750タイプ 化粧キャビネット共					1					1	現状利用
横水栓	13F6				1						1	撤去処分
湯水混合水栓	壁付シングルレバー式 13A								3	3	6	現状利用
一口ヒューズコック	13A×10φ								3	3	6	撤去処分
ガステーブル	2口、グリル付（≒5600kcal/h） フッ素トップ								3	3	6	撤去処分
ガス給湯器	【GH-1-1】 16号 屋内壁掛FE式 本体操作型 排気筒共								1	1	2	現状利用
ガス給湯器	【GH-1-2】 16号 屋内壁掛FE式 本体操作型 排気筒共				1						1	撤去処分


改修器具

器具名称	仕 様	1・2階 男子便所	1・2階 女子便所	1階 多機能トイレ	2階 多機能トイレ	1階 各所執務室 ほか	2階 各所執務室 ほか	1階 湯沸室	2階 湯沸室	合計	適用 備考
洋 風 便 器	C810S 専用洗浄弁方式 暖房洗浄便座（擬音装置付貯湯式・壁リモコン）、棚付二連紙巻器	6	8							14	新 設
壁掛小便器	U620 感知FVー体型壁掛低リップ小便器（AC100V）	8								8	新 設
同上手すり	建築工事	2								2	建築新設
洗 面 器	L410 壁掛洗面器+自動単水栓（AC100V） 壁止水栓、プトラップ	4	6							10	新 設
化 粧 鏡	600×900 盗難防止型	4	6		1					11	新 設
掃 除 流 し	S210		2							2	新 設
洋 風 便 器	C1111R 高座面対応密結タンク洗浄弁方式（洗浄リモコン付） 暖房洗浄便座（擬音装置付貯湯式・壁リモコン）、棚付二連紙巻器				1					1	新 設
同上手すり	建築工事				1					1	建築新設
オストメイト	コンパクトユニットタイプ 電気温水器内蔵（3 $\frac{1}{2}$ 、AC100V-600W） UAS81LSB1NW（TOTO 同等）				1					1	新 設
手 洗 器	壁埋込コンパクトタイプ 自動単水栓（AC100V $\frac{1}{2}$ φ） LSE570APS（TOTO 同等）				1					1	新 設
湯水混合水栓	壁付シングルレバー式 13A					1				1	新 設 （湯沸 $\frac{1}{2}$ ー $\frac{1}{2}$ ス）
電気温水器	【WEH-1】 貯湯式ウィクリータイマー付床置タイプ 貯湯量12 $\frac{1}{2}$ AC100V-1.1kw 減圧安全弁、ドレンキャッチャー 共					1				1	新 設 （湯沸 $\frac{1}{2}$ ー $\frac{1}{2}$ ス）
洋 風 便 器	C1110 自動フラッシュバルブ（押ボタン付光電センサー） ステンレス製ワンタッチ紙巻器 暖房便座				1					1	取 外 し 再 設 置
洗 面 器	VL-630 プトラップ					1				1	現状利用
埋込手洗器	250×200 自閉水栓 プトラップ				1					1	現状利用
オストメイト	ユニットタイプ				1					1	現状利用
洗面化粧台	600タイプ 単水栓、ストラップ					6	7			13	現状利用
洗面化粧台	750タイプ 化粧キャビネット共						1			1	現状利用
湯水混合水栓	壁付シングルレバー式 13A							3	3	6	現状利用
ガス給湯器	【GH-1-1】 16号 屋内壁掛FE式 本体操作型 排気筒共							1	1	2	現状利用

※1. 記載された製造者型式は参考とし監督員協議により決定する。
※2. 再利用器具に故障及び破損等がある場合は監督員に報告、協議する。

特記事項	A2：100%
	A3： 71%

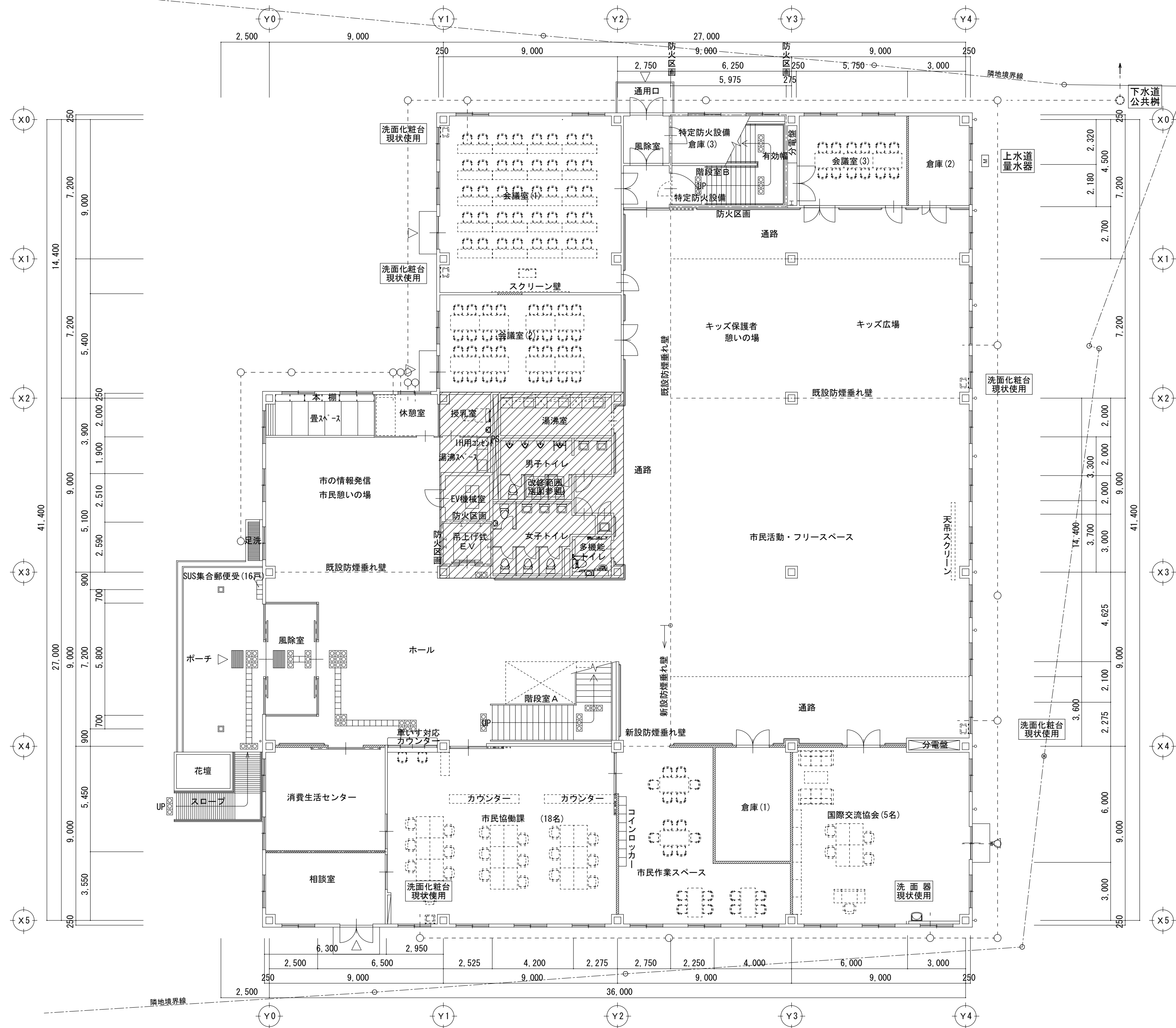
工事名称	栄 町 第 二 庁 舎 機 械 設 備 改 修 工 事						
図面名称	現 況 ・ 改 修 衛 生 機 器 表				承認	設計	担当
縮 尺	NO SCALE	製作年月日	令和7年2月				



株式会社 創ライフ研究室
■ 本 社：金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室：喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530
1級建築士事務所登録 第15(205)0291号
管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号

図面番号
M-18


改修後



改修後 1 階平面図 S=1 : 150

特記事項	A2：100%		
	A3：71%		

工事名称	栄 町 第 二 庁 舎 機 械 設 備 改 修 工 事		
図面名称	改 修 衛 生 設 備 1 階 平 面 図	承認	設計
縮 尺	S=1:150	製作年月日	令和7年2月



株式会社 創ライフ研究室

■ 本 社：金津若松市白虎町33番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室：喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530

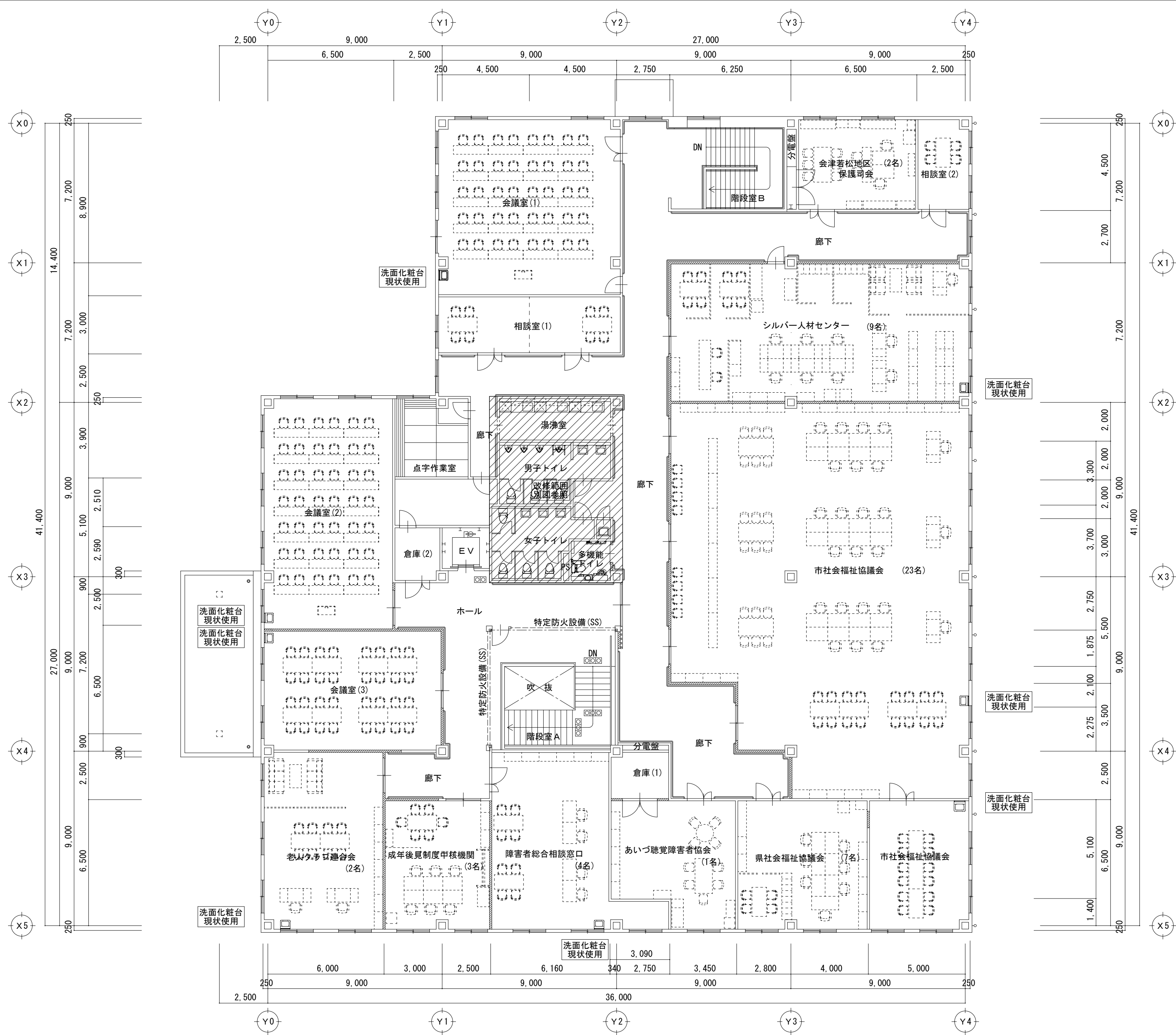
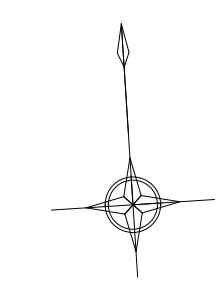
1級建築士事務所登録 第15(205)0291号
管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号

Solife Architect Office


図面番号


M-19

改修後



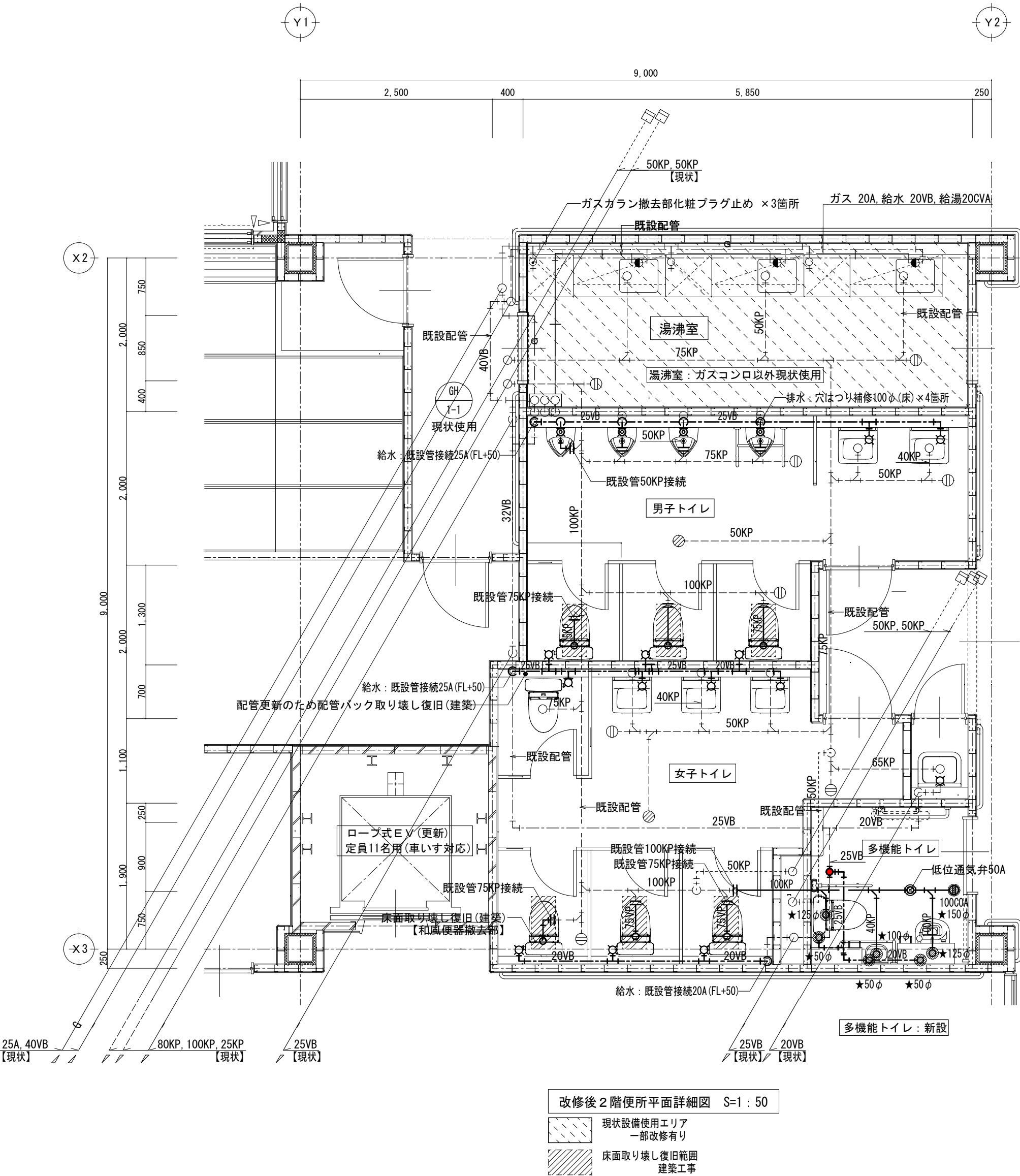
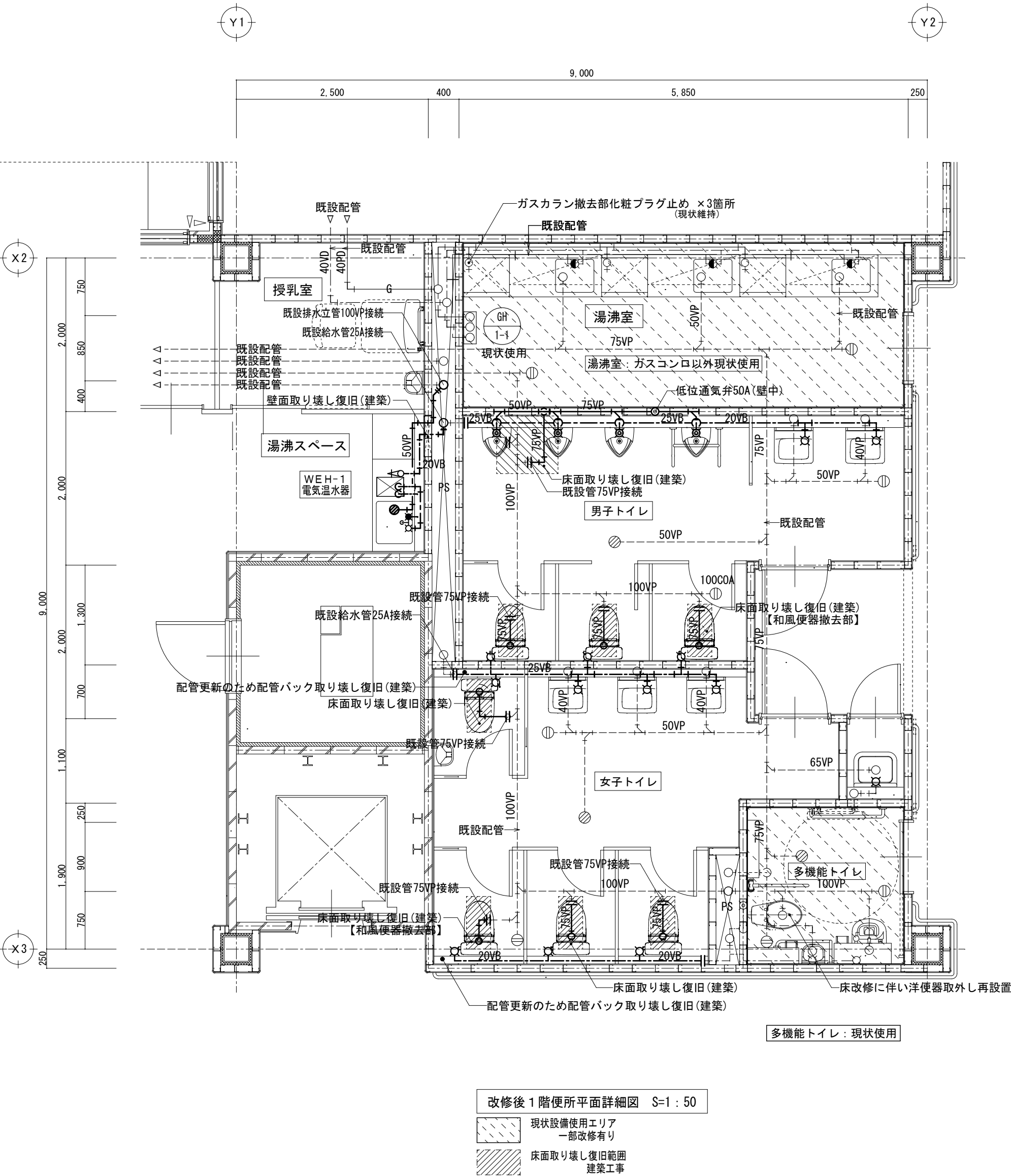
改修後 2 階平面図 S=1 : 150


特記事項	A2 : 100%			工事名称			栄 町 第 二 庁 舎 機 械 設 備 改 修 工 事			 <div>株式会社 創ライフ 研究室 ■ 本 社 : 金津若松市白虎町336番地 TEL 0242. 32. 2285 □ 研究室 : 喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL 0241. 27. 3530 1級建築士事務所登録 第15(205)0291号 管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号</div>	図面番号	
	A3 : 71%			図面名称		改 修 衛 生 設 備 2 階 平 面 図		承認	設計			担当
				縮 尺		S=1:150	製作年月日	令 和 7 年 2 月				
									M-2 0			

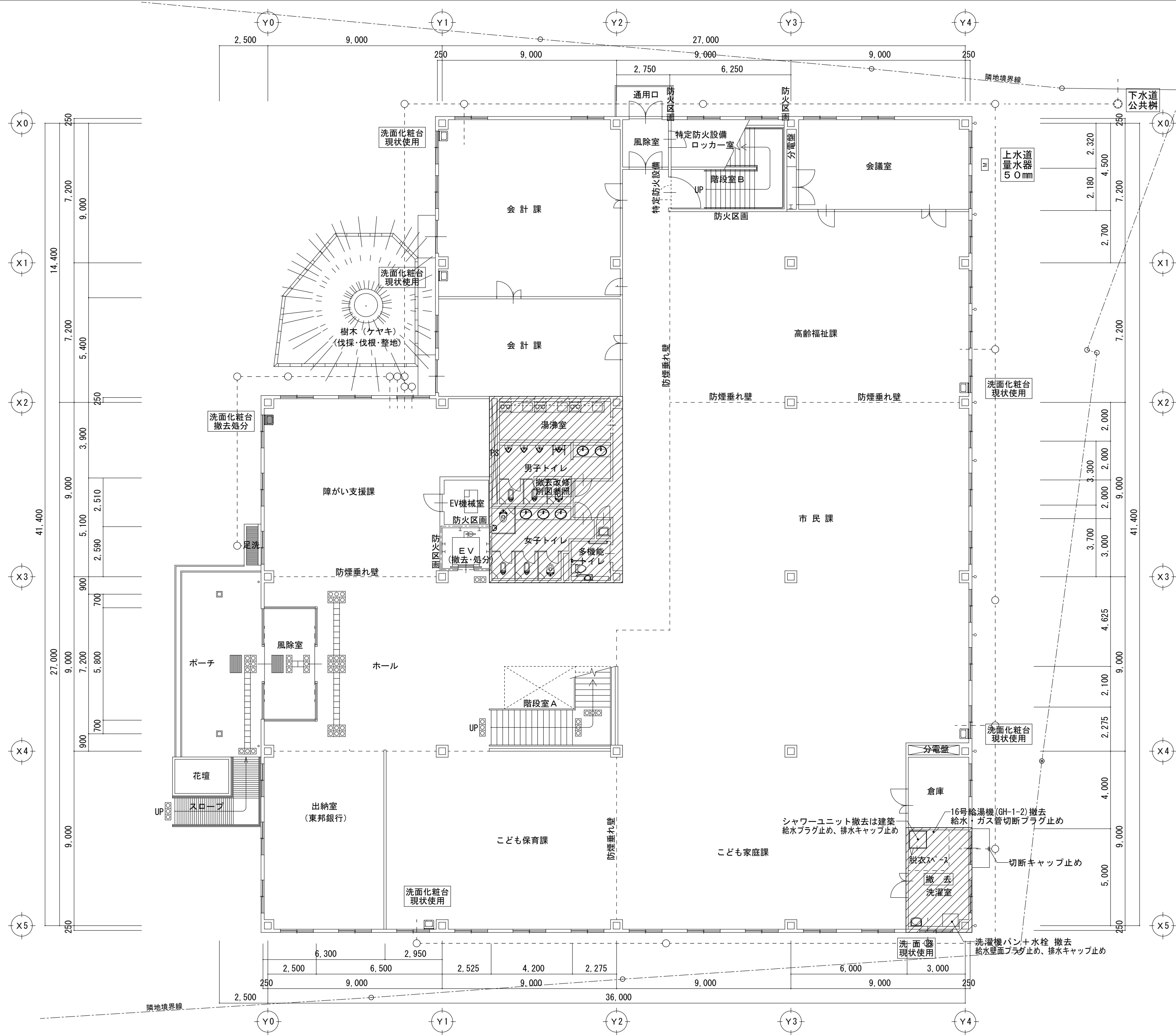
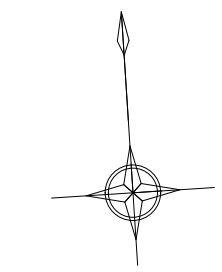


株式会社 創ライフ研究室
■ 本社：金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室：喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530
1級建築士事務所登録 第15(205)0291号
管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号


図面番号
M-20



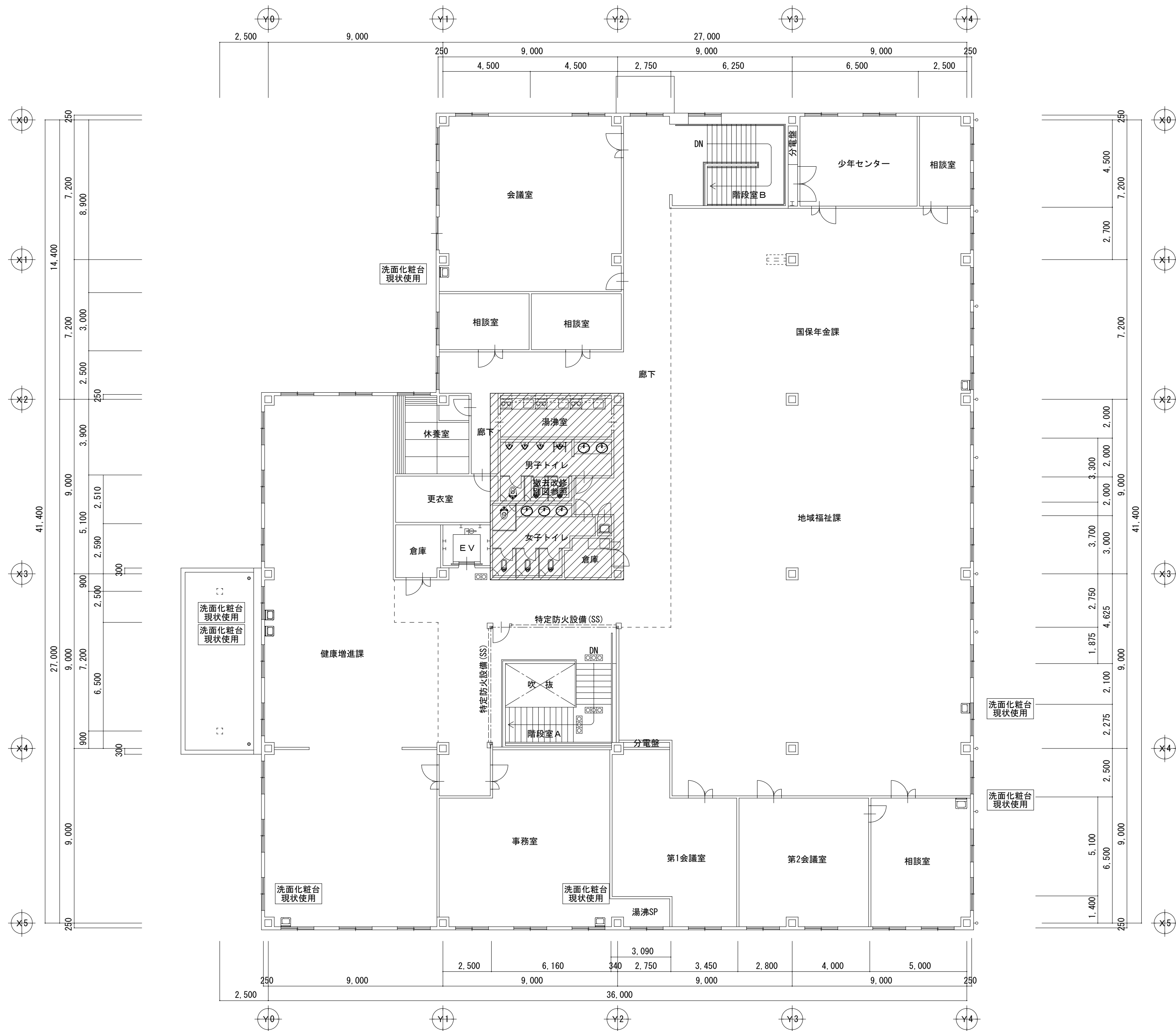
特記事項	A2 : 100%			工事名称	栄町第二庁舎機械設備改修工事				<div><div></div><div>Solife Architect Office</div></div> <div>株式会社 創ライフ研究室</div> <div>■ 本 社 : 金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285</div> <div>□ 研究室 : 喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530</div> <div>1級建築士事務所登録 第15(205)0291号</div> <div>管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号</div>	図面番号	M-2 1			
	A3 : 71%				図面名称		改修 1、2階トイレ平面詳細図					承認	設計	担当
					縮 尺	S=1:50	製作年月日	令和7年2月						



現況 1 階平面図 S=1 : 150

特記事項	※1. 不要となる配管は死に水に成らぬように極力上流側で切断プラグ(キャップ)止めとする事。			A2 : 100%		工事名称	栄 町 第 二 庁 舎 機 械 設 備 改 修 工 事				<div><div>株式会社 創ライフ研究室</div><div>■ 本 社 : 金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285</div><div>□ 研究室 : 喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530</div><div>1級建築士事務所登録 第15(205)0291号</div><div>管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号</div></div>	図面番号
	※2. 現状利用とする器具及び配管に不備がある場合は、監督員に報告し対策を協議する事。			A3 : 71%			図面名称	現 況 衛 生 設 備 1 階 平 面 図				
								縮 尺	S=1:150	製作年月日		
							承認		設計	担当		M-22


現況



現況 2 階平面図 S=1 : 150

特記事項	A2：100%		
	A3：71%		

工事名称	栄町第二庁舎機械設備改修工事				
図面名称	現況 衛生設備 2階 平面図		承認	設計	担当
縮 尺	S=1:150	製作年月日	令和7年2月		



株式会社 創ライフ研究室

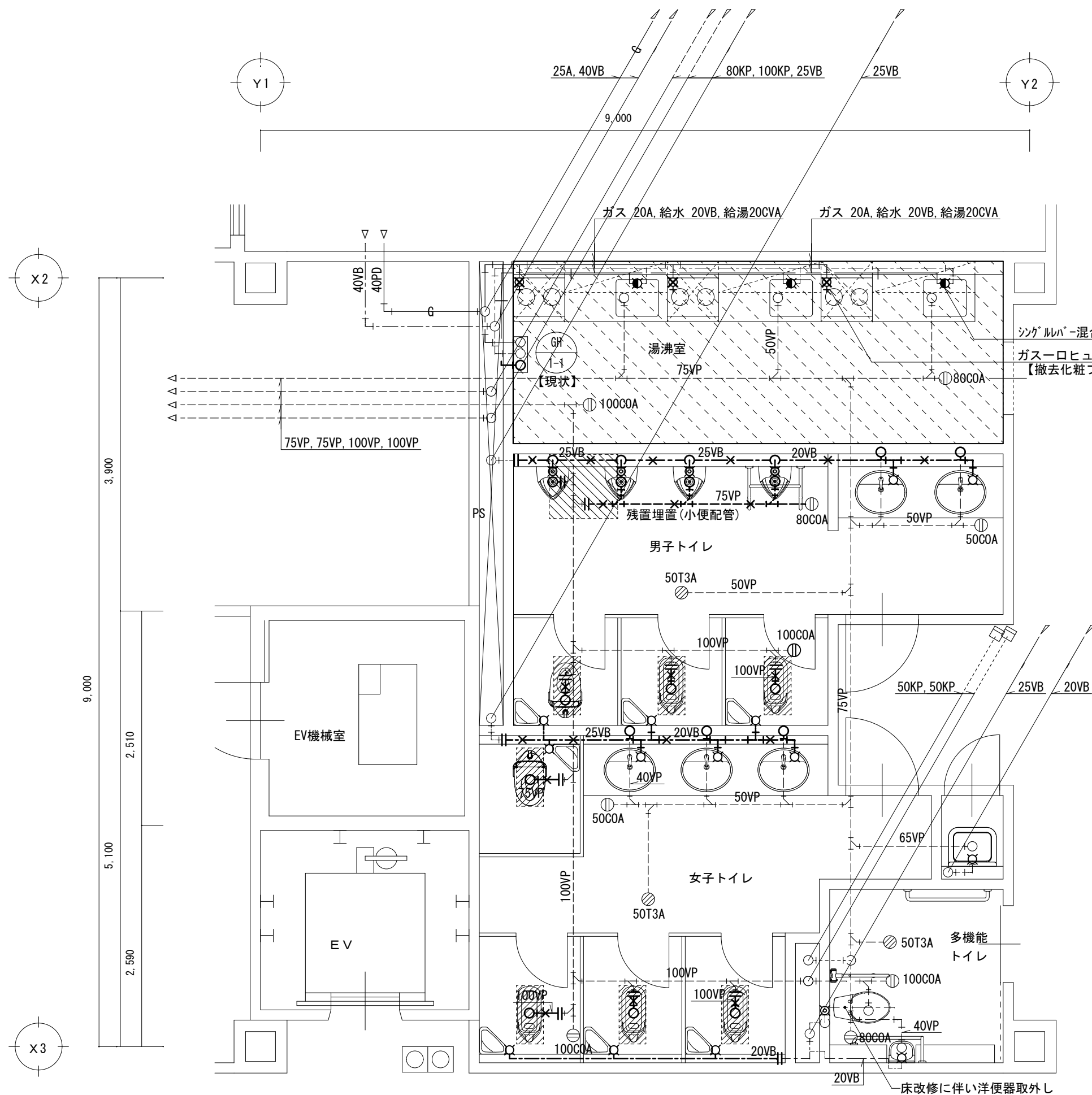
■ 本 社：金津若松市白虎町33番地 TEL. 0242. 32. 2285
□ 研究室：喜多方市塩川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530

1級建築士事務所登録 第15(205)0291号
管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号

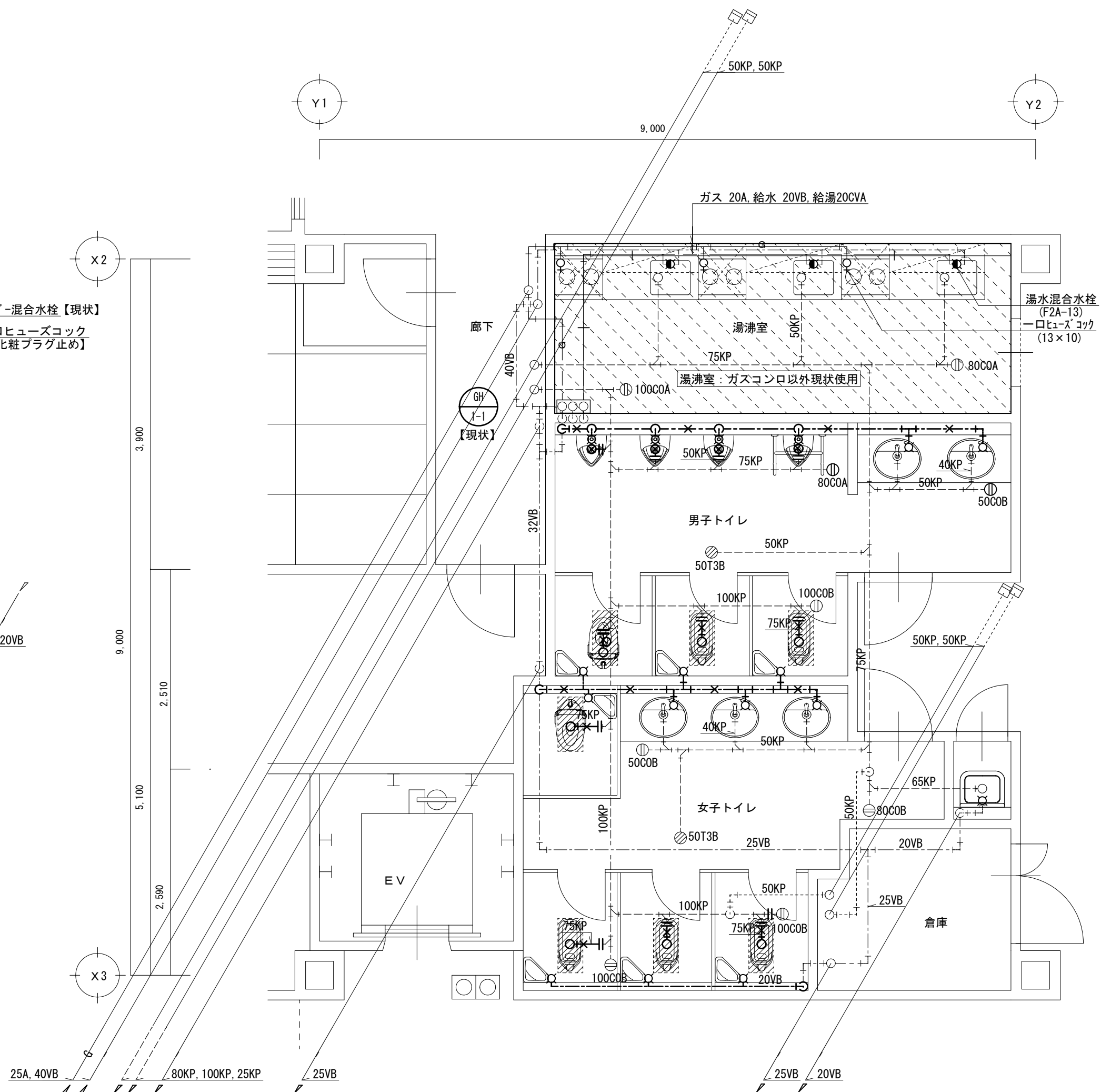
Solife Architect Office

図面番号


M-23



現況 1 階平面詳細図 S=1 : 50




現況 2 階平面詳細図 S=1 : 50




：現状使用エリア

 : 撤去配管 (太線)

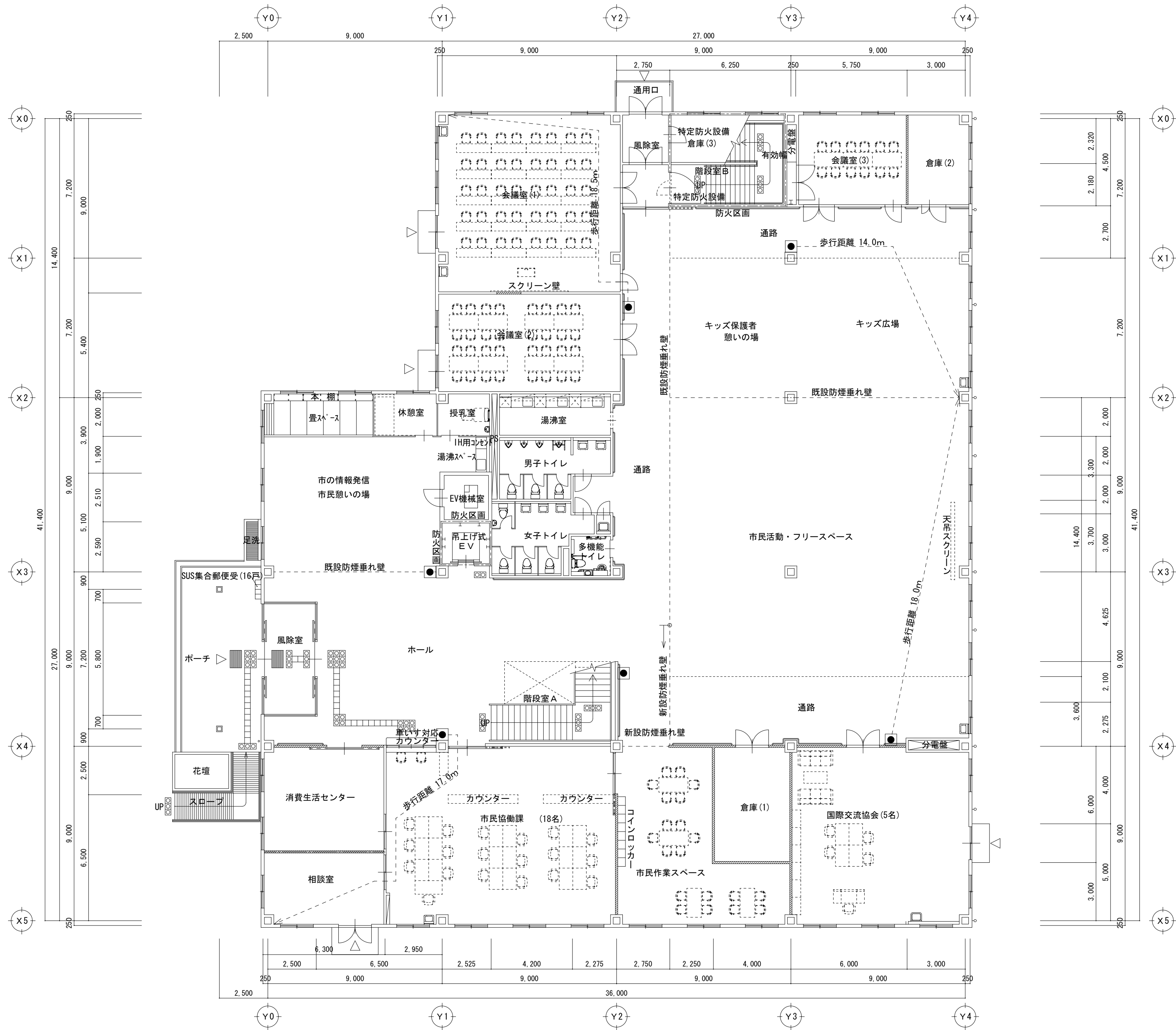
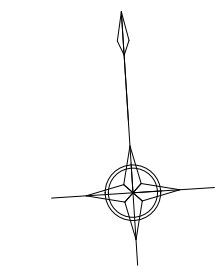
----- : 現状使用配管（細線）

特記事項	※1. 多機能トイレを除く衛生器具はすべて撤去処分とする。（洗面カウンターの撤去は建築工事）	A2：100%
	※2. 和風大便器部分を含む床コンクリートの取り壊し復旧は建築工事範囲とする。（記号： )	A3：71%

工事名称	栄町第二庁舎機械設備改修工事					
図面名称	現況 1、2階トイレ平面詳細図			承認	設計	担当
縮 尺	S=1:50	製作年月日	令和7年2月			



株式会社 創ライフ研究室
 ■ 本社：会津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285
 □ 研究室：喜多野市埴川町東栗町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530
 1級建築士事務所登録 第15(205)0291号
 管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号
 Solife Architect Office

改修後

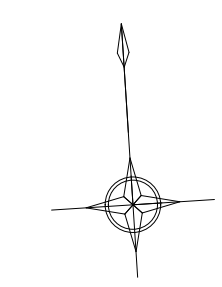


改修後 1階平面図 S=1：150

● 消火器：ABC10号 (置台共)

特記事項 ※1. 消火器位置は参考とし、歩行距離20m以内毎に設置する。	A2：100%			工事名称 米町第二庁舎機械設備改修工事	承認設計担当			<div><div>株式会社 創ライフ研究室</div><div>■ 本社：金津若松市白虎町336番地 TEL. 0242. 32. 2285</div><div>□ 研究室：喜多方市堀川町東栄町1-7-15 TEL. 0241. 27. 3530</div><div>1級建築士事務所登録 第15(205)0291号</div><div>管理建築士 五十嵐 智一 1級建築士 第268314号</div></div>	図面番号 M-25
	A3：71%								
縮尺	S=1:150	製作年月日	令和7年2月						

改修後



改修後 2 階平面図 S=1 : 150